

建築と社會

The Architectural Association of Japan

9

新建築紹介

大阪府立労働会館.....	1
経理株式会社.....	3
大和ビルディング.....	5

記事欄

大和ビルディング工事概要.....	編集部.....	15
シンケルよりニューマイヤーまで.....	浦邊 鐵太郎.....	18
新設備—衛生設備の分野.....	小 川 誠 耳.....	22
A・A・J・資料（ヤセリア空気状態図表）.....		26
會 務.....		28

1952

Vol. 33

日本建築協會

アスファルトタイルは 割れるから使ふのは止めよう!

……と言はれる方があるそうです。未だ日本では製造を初めてから日が浅いので危惧の念もあるのです。
アメリカでは床工事の80%がアスファルトタイルを使用
してゐるそうです。当社の**三星印アスファルトタイル**
はU.S.Federal Spec. SS-T-306aに依つて試験室
で製品を厳密に検査して出荷して居り、此の規格を
常に凌駕して居ります。アスファルトタイル御使用の
際は**三星印**と特に御指定下さい。仕上り後変色した
り割れたとかの苦情は決してありません。
當社品はアメリカ製品にも品質に於ては遜色がなく
寧ろ優つてゐると自負して居ります。欠点は未だ値
段が高いことです。今工場ではコスト引下に努力中
です。

三星印



田島応用化工株式会社

東京・足立区小台町 633 TEL.代表.王子(81)2330
大阪・西区京町堀上通 1-14 TEL.代表.土佐堀(44)0810

會

告

九月午餐會開催

新秋九月の定例午餐會を下記の通り催します。毎回盛況を極めておる此の會が引き続き盛會になります様各部門各層から古い方も新しい方も多数御出席風の一時を食食と共に交歓されん事を切にお奨めします。

1. 時 9月18日(木) 11時半集合
1. 所 中央電気倶楽部(北区堂島中二丁目)
1. 会費 ￥500—
1. 申込 9月17日迄なるべく会費を添え申込れたし

尙当日は午餐後、「新しい照明に就て。」東芝大阪支店、笠原襄氏の講演があり、引き続き「耐火建築促進法施行に就て。」伊東大阪市建築局長、稗田大阪府指導課長の講演があります。

大阪銀行備後町支店新築ビル見學會

予て大林組施工の下に工事を急がれていた標記建物が9月中旬竣功御堂筋に又新な偉觀を呈することになりました。本會は關係各社にお願いして竣功直後の此の建物を下記により見學いたします。會員各位多数の参加を希望しています。

追て本建物の設計監理は日建設計工務株式会社、施工は株式会社大林組、構造設備は鉄骨鉄筋コンクリート造地下2階、地上8階、延坪361.4坪、延坪2964.4坪、電気衛生工事 三機工業株式会社、冷暖房工事、須賀工業株式会社、昇降機 住友商事株式会社(三菱製品)保護金庫 伊藤喜商店等。

記

見學日時 9月19日(金) 午後4時~5時

当日御説明並御案内を左記の二氏にお願いしております。

日建設計工務株式会社 近藤保氏 株式会社 大林組 谷一郎氏

集合場所 市電本町4丁目、地下鉄本町下車北へ瓦町御堂筋東角大阪銀行備後町支店前

申込締切 9月17日迄会費30円と共に申込み下さい、予定人員あり先着順へ切る。

尙当日は會員章着用代人、お断りします。

昭和27年9月1日

会 勢 委 員 会

建築資材に関する座談會

今般関西建材会と共催にて下の通り建築材料についての座談會開催いたします。多数御参加下さい。

優良建材の選び方と合理的設計並に施工上の注意に就て

- 取 材
1. アスファルト製品並防水工事について
 2. 石綿スレート製品と施工について
 3. 天窓とベンチレーターについて
 4. 床ワックス施工について

時 9月20日(土) 2時 所 大阪建設會館

会費 不要 申込 來會希望人員至急お知らせ下さい。

会 勢 委 員 会

新刊プラスチックとビニロンパンフレット頒布中

アクリライト、メラミン、ビニール等建築資材として關係あるものを46版凡60頁に収録したもの頒布中好評を傳しております一本を座右にされん事をお奨めいたします。

一部定価 ￥70— 〒8円 但し 會員 送料共 ￥60円

記念事業中最近の行事豫告

羽衣住宅即売展示会 (11月初旬予定)

目下南海羽衣に於て建設中の住宅は27社で28戸を10月中完成11月勿々約10日間展示会開催即売する。10月詳細会告御覧の上広く宣伝乞う。

住宅展覧会開催 (11月中旬予定)

羽衣住宅展示会と時を同じくして南海高島屋に於て展覧会開催のため準備に着手中次号で詳細発表。

建築講習会続行

今春より松江、下関、九州各地、兵庫、和歌山など7ヶ所で開催何れも盛会であつたが其後新に申込もあり下の予定で秋の事業として続行企画中、開催決定の上は地元、会員各位の絶大な御援助を御願申上げる。
四国 (10. 9)、広島 (10. 8)、岡山 (10. 7)、名古屋 (10. 11)、鳥取 (10. 7)

秋の小豆島見学

春夏の企画を終つた見学部では十月下旬を期し天下の名勝地小豆島の紅葉を探り傍ら大阪城石其他各地の築城に用いた残石地。丸金醤油醸造工場見学或は八代田植物園並オリ1づ園其他の名所を訪ね1泊2日の見学会を催す。目下調査中詳しくは10月号御覧多数参加あらん事を。

尙12月は京都大徳寺外国宝茶席見学、名儒講演、懐石料理と茶味に親しみ1泊の予定で撮影所等見学企画中

創立35年記念事業後援申込芳名

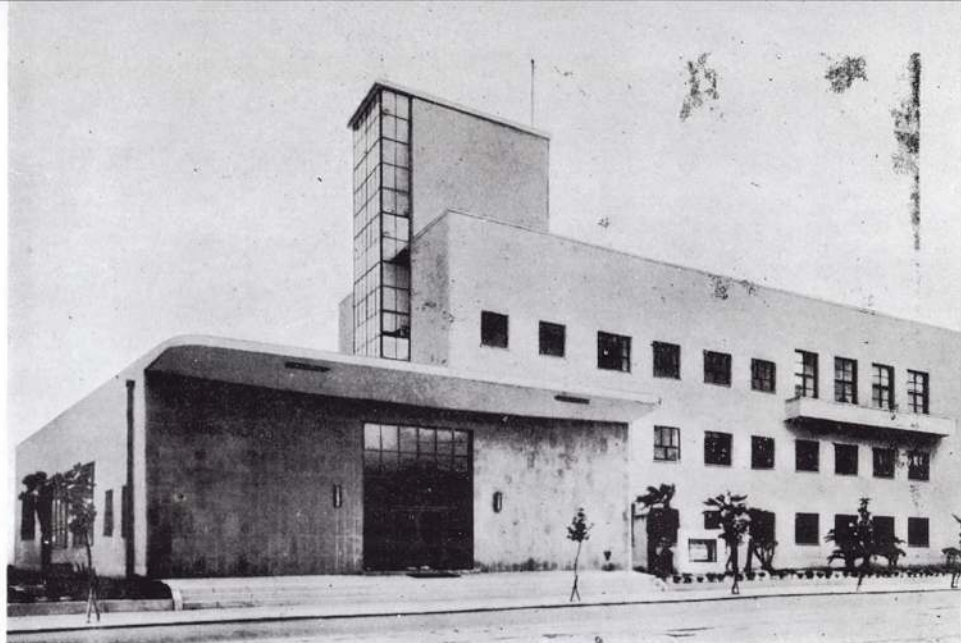
前月掲載後御申込を受けました芳名を列記し深甚の謝意を表します。各事業も今秋に其大部分を遂行いたす予定で目下着々進捗中であります。後援会費も各方面の絶大な御支援を忝けのういたしておりますが尙個人会員各位よりの御申込を期待いたしております。此際御申込洩れの向は何分の御協力賜ります様お願い申し上げます。

昭和27年8月20日

記念事業委員長、資金部長 東 畑 護 三

(7月21日以降申込受付順)

川 勝 源 兵 衛 殿	1.000	岡 本 巖 殿	500
谷 民 藏 殿 (兵庫)	1.000	西 田 亀 次 殿	300
株式会社熊谷組大阪支店 殿	10.000	栗本建設工業株式会社 殿	10.000
株式会社 ライト製作所 殿	3.000	小 笹 徳 三 殿 (東京)	1.000
有限会社 東亜製作所 殿	1.000	村 上 敬 正 殿 (中国)	100
野 村 辰 雄 殿	500	柳 内 健 次 殿 (兵庫)	300
牧 村 利 勝 殿	500	中 村 網 殿	1.000
高 岡 与 三 吉 殿 (東京)	300	小 計	38.500
田 辺 工 業 有 限 会 社 殿	3.000	(以上自7月21日至8月20日)	
日本油脂株式会社大阪支店殿	5.000	通 計	¥3.155.100



大阪府立労働會館

設計 大阪府建築部営繕課

施工 主 体 工 事 株式会社 松村組

木製建具 築柴木材工業株式会社

鋼製建具 大阪建材工業株式会社

タイル 川岸窯業商店

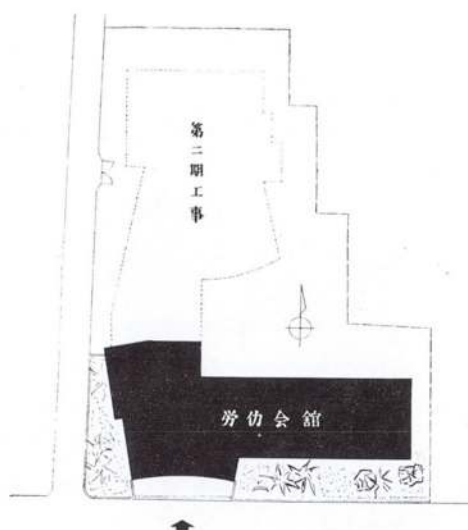
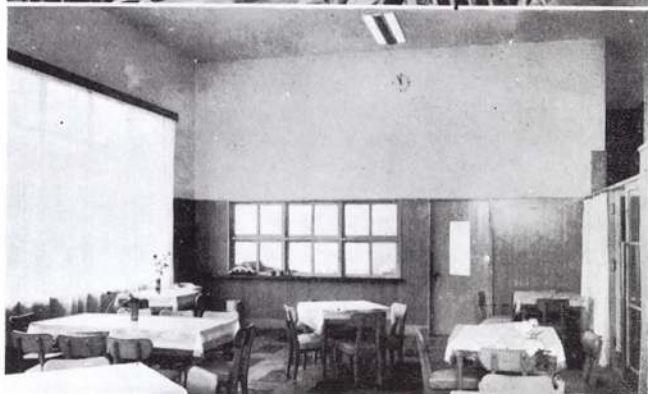
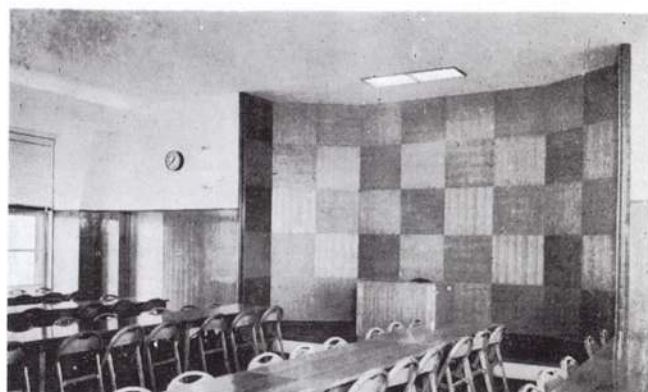
擬 石 愛高大理石株式会社

左 官 建 業 社

塗 装 辰己吉商店

電 気 工 事 栗原工業株式会社

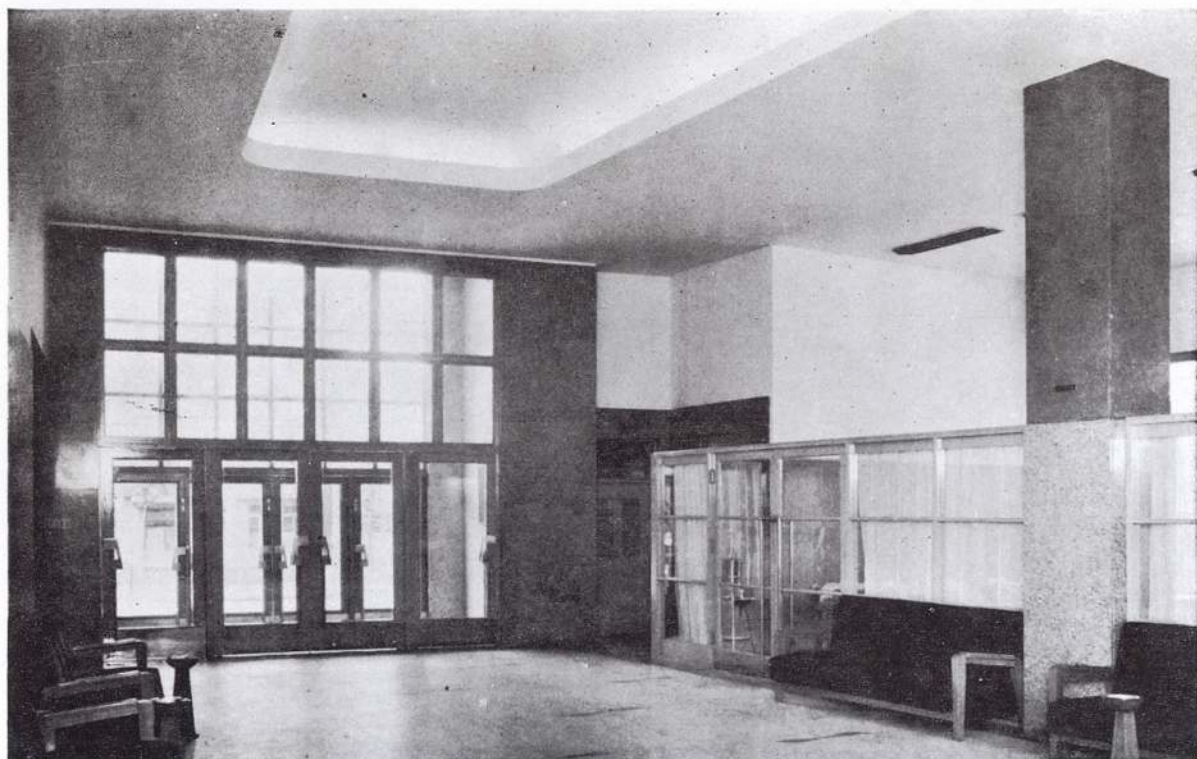
給水衛生工事 大和工業株式会社



工程 自昭和26年11月14日 至昭和27年7月10日

建 築 面 積 地階70m²80 1階724.25 2階440.39

3階440.39 塔屋21.72 合計1,637m²55



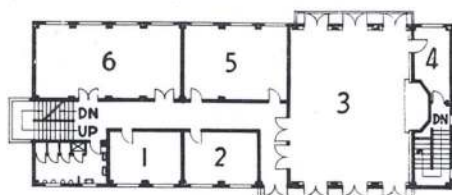
仕上概要 外装 腰 人造石洗出し 壁 色モルタル揺落し正面玄関北木産花崗石水磨き仕上げ
屋根 モルタル目地切バルコニー床クリンカータイル貼り窓及出入口正面出入口スチールサツシユラツカー吹付け 窓 スチールサツシユオイルペンキ塗り

内装 一階玄関 床人造石研出真鍮目地入腰壁テラゾーブロック貼り天井石膏プラスター塗り
ホール及談話室 床真鍮目地入人造石研出し腰壁テラゾーブロック貼り壁天井石膏プラスター塗り食堂床リグノイド腰ベニヤ練板クリアツカー仕上壁天井石膏プラスター各事務室床リグノイド腰オリエンタルクロス貼オイルペンキ塗り及びモルタル塗りオイルペンキ塗り壁天井石膏プラスター塗り
二階 会長及局長室 床リグノイド塗り腰オリエンタルクロス貼オイルペンキ塗り及びモルタル塗りオイルペンキ塗り壁天井石膏プラスター塗り
三階大集会室 床リグノイド塗り腰ベニヤ板ワニス仕上げ壁天井石膏プラスター塗り 法学会サロン 床リグノイド腰オリエンタルクロス貼オイルペンキ塗り壁天井石膏プラスター塗り 図書室 床リグノイド巾木人造石研出腰壁天井石膏プラスター塗り

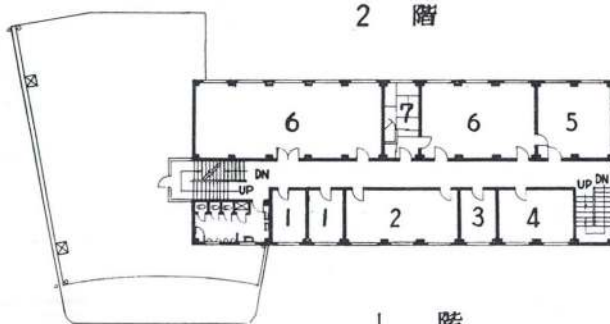
平面図説明

- | | | | |
|-----|----------|---------|----------|
| 1 階 | 1 玄関 | 6 綜合相談所 | 11 局長室 |
| | 2 ホール | 7 記者クラブ | 12 事務室 |
| | 3 談話室 | 8 電話室 | 13 会議室 |
| | 4 応接室 | 9 宿直室 | 14 喫茶食堂 |
| | 5 会館事務室 | 10 集会室 | 15 厨房 |
| 2 階 | 1 提訴者控室 | 3 小会議室 | 5 会長及局長室 |
| | 2 審問及会議室 | 4 委員控室 | 6 事務室 |
| 3 階 | 1 法学会サロン | 3 大集会室 | 5 集会室 |
| | 2 図書室 | 4 控室 | 6 教室 |

3 階



2 階



1 階



蝶理株式會社

位置 大阪市東区本町
設計 清水建設株式会社
大阪支店設計部
施工 主体工事 清水建設株式会社
電気工事 栗原工業株式会社
衛生工事 神野工業株式会社
鋼製建具 理研鋼材株式会社
工事
昇降機 東洋オーチス
工 エレベーター

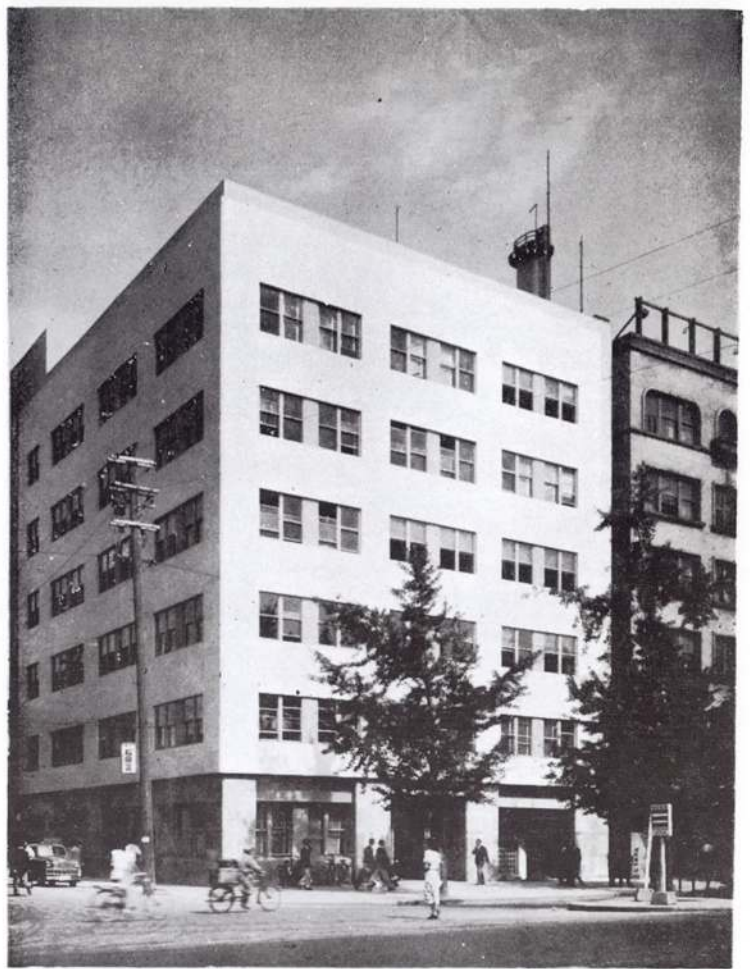
建築面積 地 階 124.31
1 // 112.54
計 833.48
ドライエリア 4.24
尺

軒高 74.50

構造 鉄筋コンクリート造地下1階
地上6階建

外装 .15角 淡黄色タイル貼一部現場
塗人造石小叩き仕上1階腰階高
さ12.0議院石水磨ブロック貼付
背面色モルタル吹付仕上

内装 床 玄関ホール及営業室、現場
塗テラゾー真鍮目地切、4階及6
階フローリング、ブロック貼其
の他リノリウム敷き、各階廊
下及び階段人造石研出仕上
壁 玄関ホールテラゾーブロッ
ク貼4階主要室、塩地エンドレ
スベニヤ貼ラック塗6階ドング
ロス貼、ペンキ塗其の他プラス
ター
天井 主要室プラスターペンキ
其の他プラスター塗



平面図説明

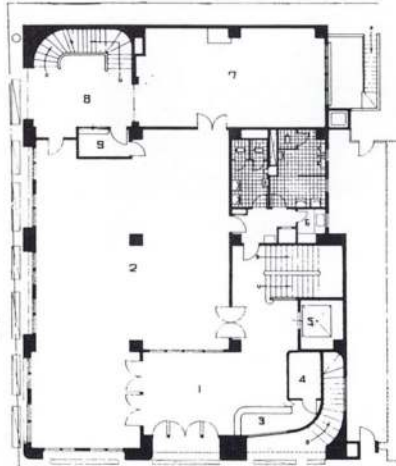
地階 1喫茶室 2売店 3食品庫 4ホール 5女子更衣室 6社員食堂 7理髪 8倉庫
9物入 10脱衣室 11浴室12了備室13電気室 14ボイラー室15ポンプ室 16ドラ
イエリヤ17煙突 18石炭庫 19休養室 20小使室 21湯沸室 22宿泊室23受水槽
1階 1ホール 2事務室 3受付 4運転手控室 5エレベーター 6湯沸室 7倉庫8荷
解場 9守衛室
2階 1事務室 2ホール 3湯沸室 4放送室 5電話室 6金庫室 7テレタイプ室



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23



地 階



1 階



2 階



写真説明

4階 社長室 1階 ホール 正面入口

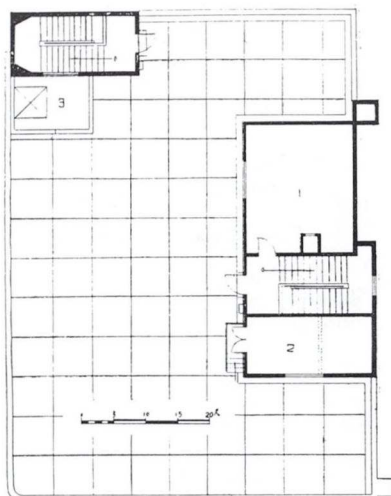
平面図説明

3階 1事務室 2ホール 3湯沸室 4邦文タイプ室 5英文タイプ室
6応接室

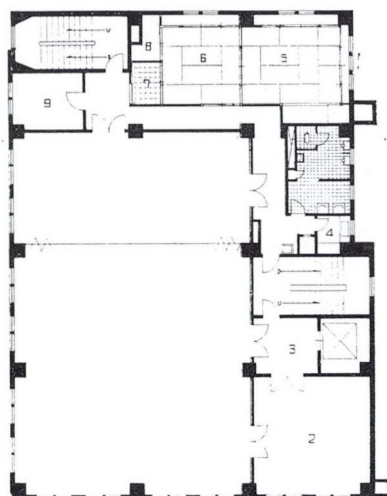
6階 1集会室 2控室 3ホータ 4湯沸室 5客間 6次の間 7踏込
8押入 9了備室

屋階 1タンク室 2エレベーター機械室 3稲荷社

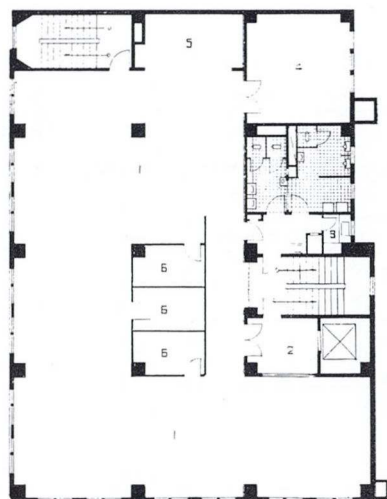
屋階



6 階



3 階





大和ビルディング

位 置 大阪市南区南久宝寺町4丁目

設 計 安井建築設計事務所

施 工

主 体 工 事	株 式 会 社 大 林 組
造 作 工 事	内 外 木 材 工 業 株 式 会 社
電 気 工 事	工 藤 電 気 株 式 会 社
衛 生 設 備 工 事	須 賀 工 業 株 式 会 社
冷 暖 房 工 事	東 洋 キ ャ リ ア 工 業 株 式 会 社
エ レ ベーター 工 事	東 洋 オ ー チ ス エ レ ベーター

写真説明 (撮影 多比良敏雄)

上・外観御堂筋側 下・久太郎町側心斎橋筋





ポーチ

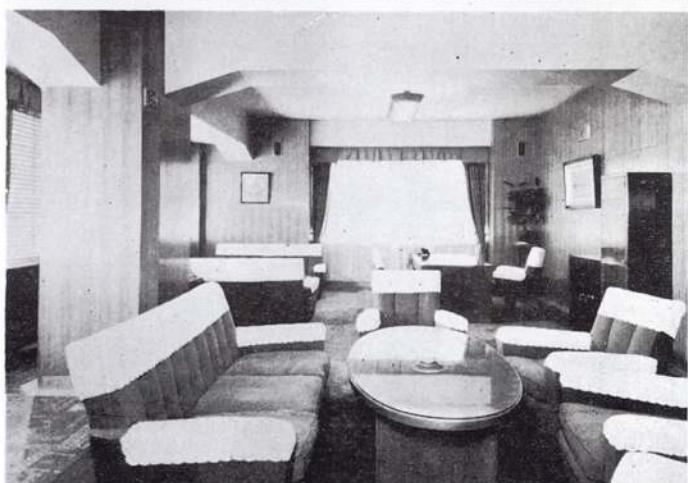


玄関脇のポンド

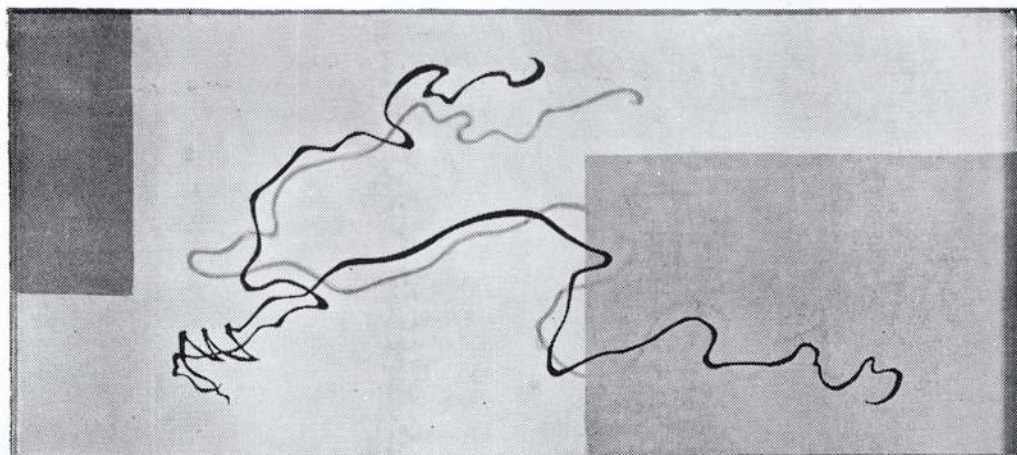
休 憩 室



社 長 室



一 階
エレベーター
ホ ー ル

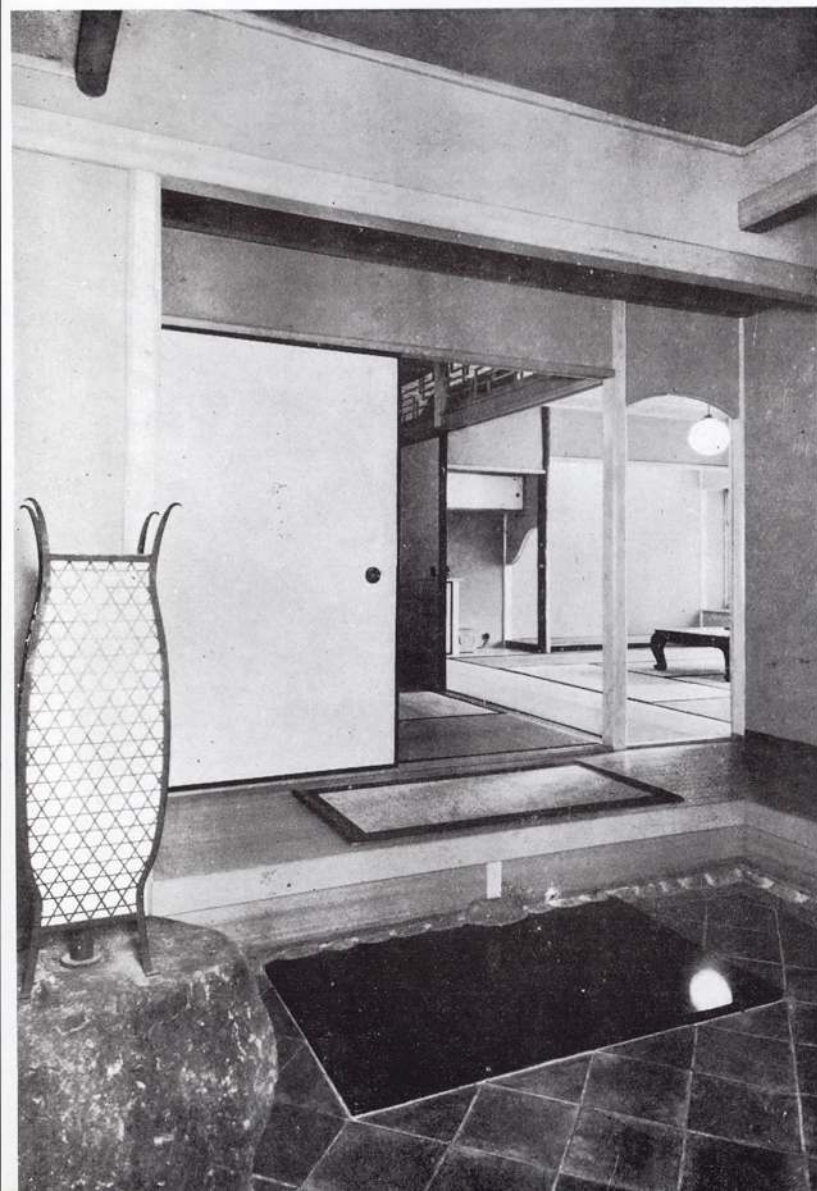


集 会 室
壁 画



4階集会室

4階日本間玄関



建物床面積

総面積 4,555.99坪

内訳

本館	地階	638.76坪
	1階	540.48
	2階	539.46
	3階	548.35
	4階	548.35
	5階	439.11
	6階	428.67
	7階	381.59
	8階	335.41
屋階		68.00
屋階中二		24.59

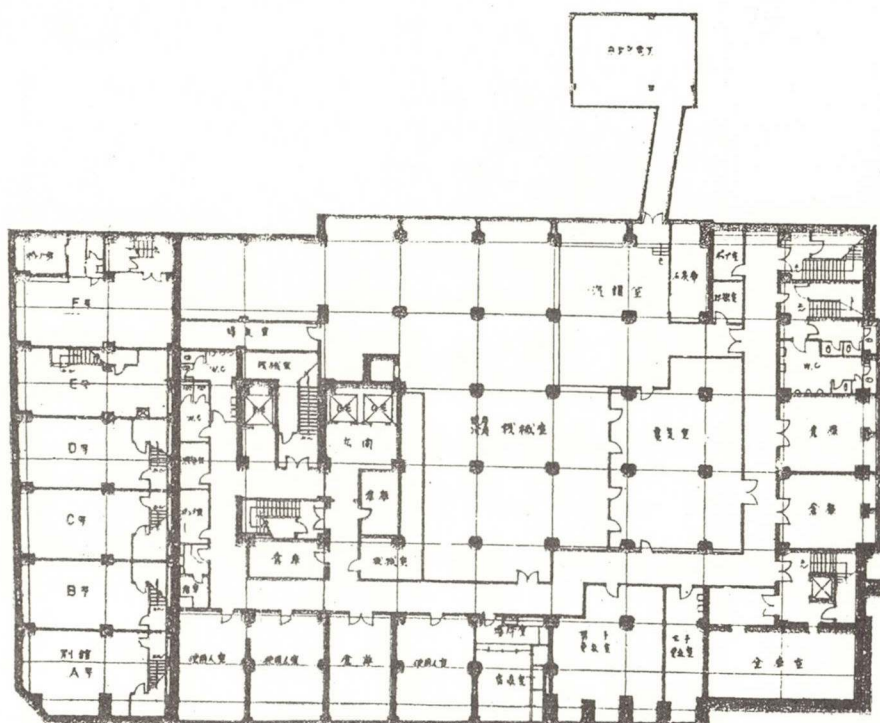
本館延面積 4,462.77

別館地階 19.72

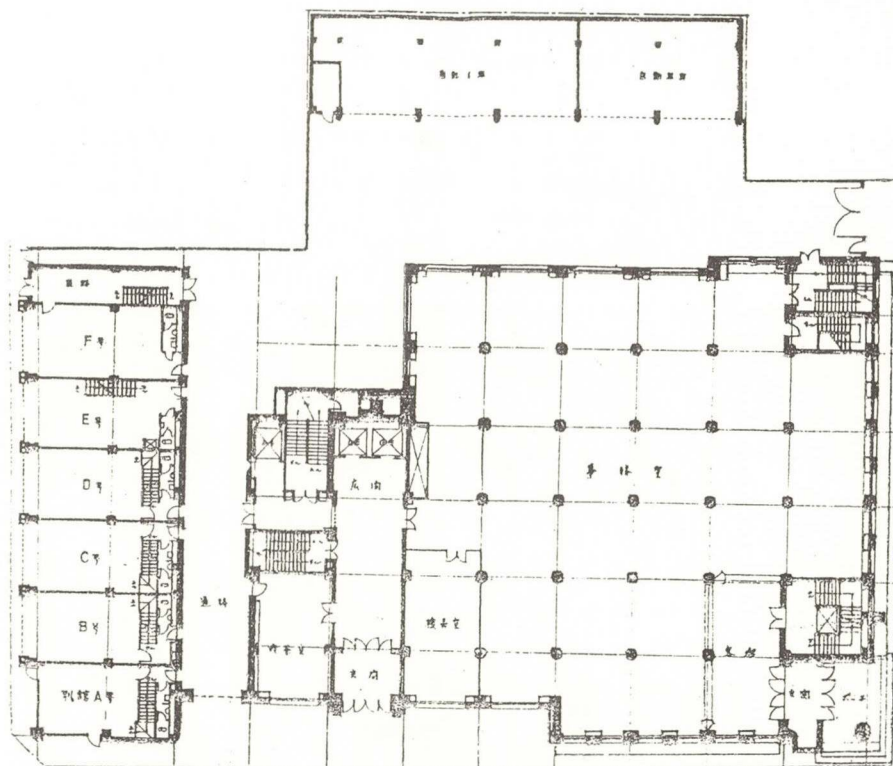
(自動車庫) 1階 73.08

別館延面積 92.75

大和ビル平面図

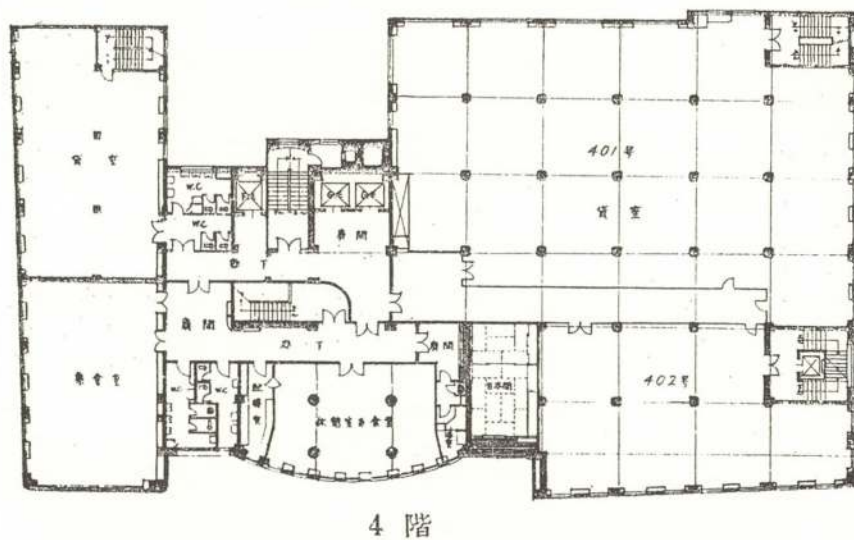
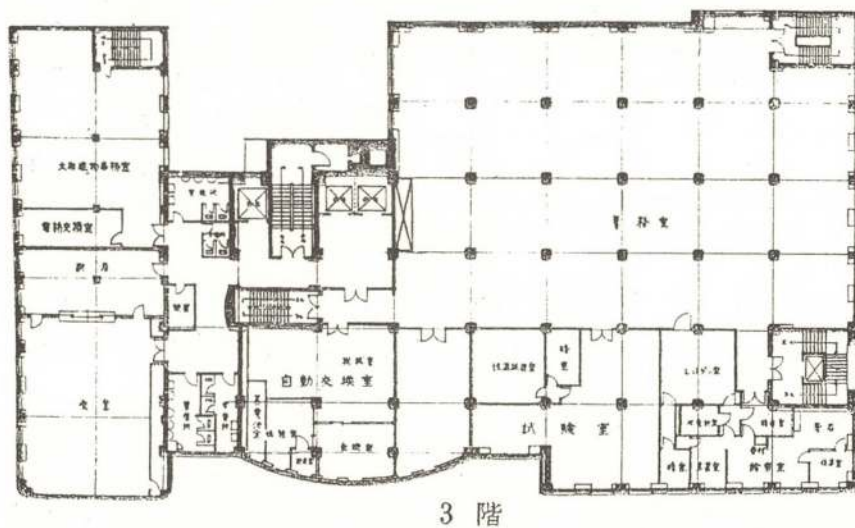
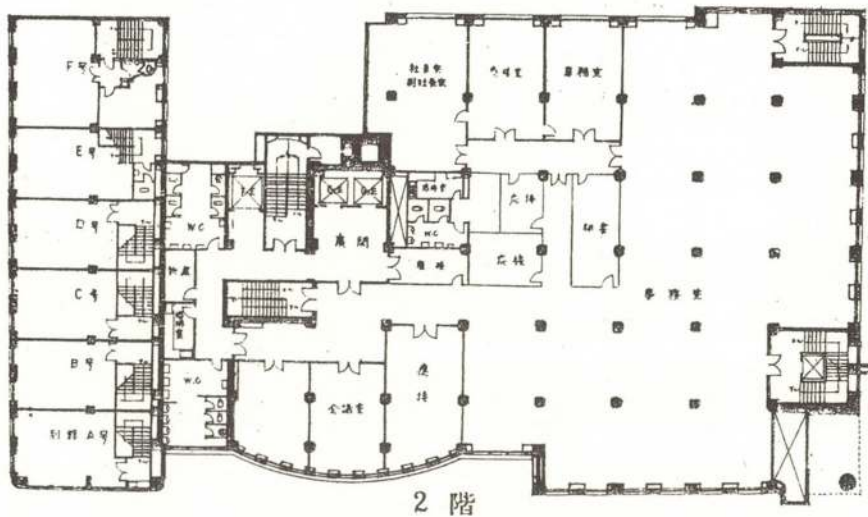


地階

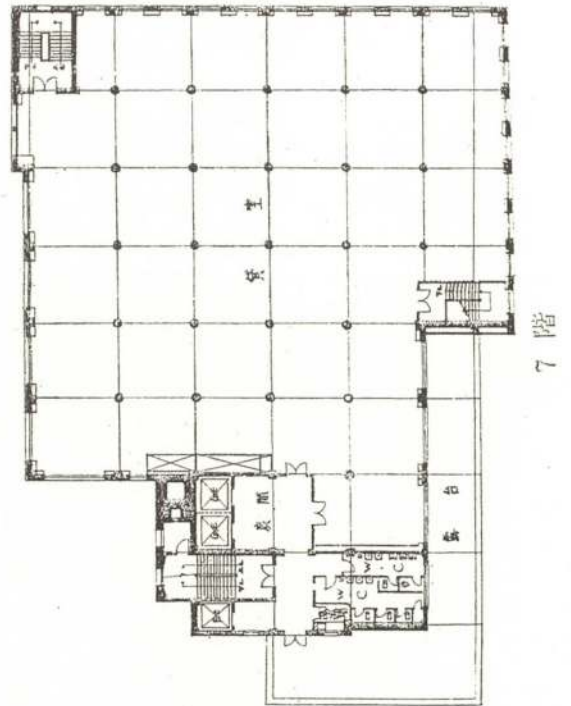
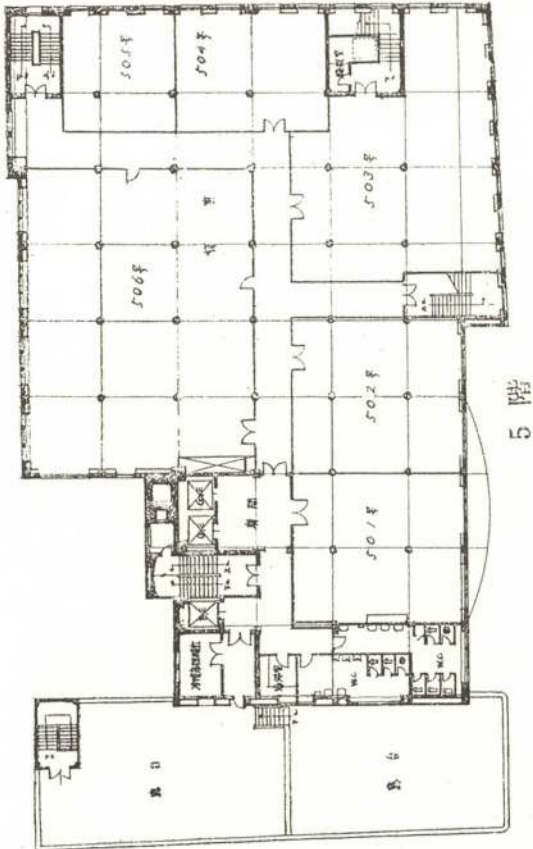
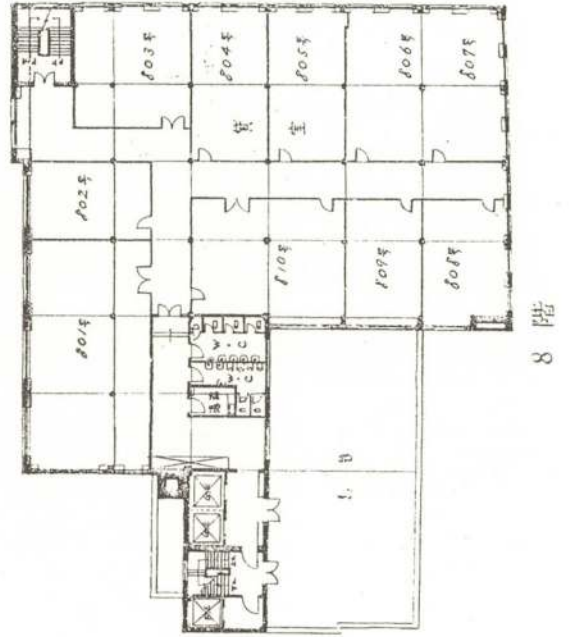
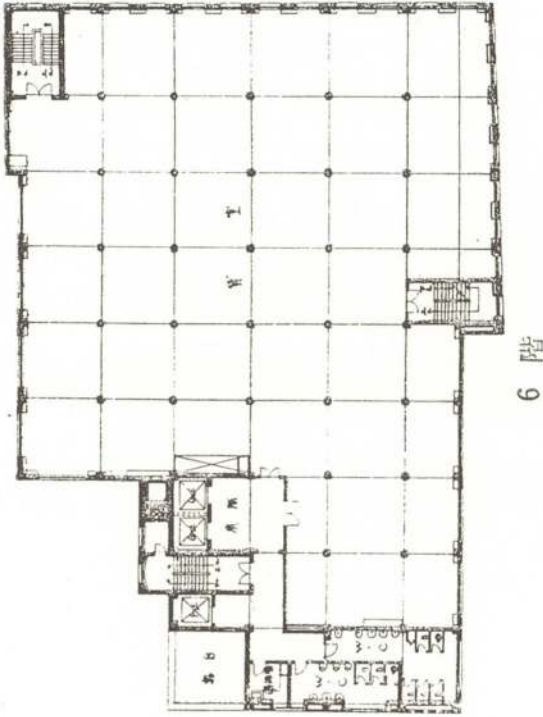


1 階

大和ビル平面図



大和ビル平面図



大和ビルディング工事概要

編 集 部

構 造

基礎 ベデスタル杭打地形 G35 本 軸部 本館 鉄骨鉄筋コンクリート造 但鉄骨は 6 階床迄 別館鉄筋コンクリート造、壁体 鉄筋コンクリート造、煉瓦造、鋼軽量間仕切竝に木造床鉄筋コンクリート造 屋根 鉄筋コンクリート造、アスファタ防水層施工、上端モルタル塗り、階数 8 階 地下1階 軒高 30,150 米 (基準地盤より庇天端まで) 塔屋最高部高 35,700 米 外部仕上 西及北の腰は倉橋島産、桜花崗石磨石貼り、柱型能磨石磨き、東及南の腰はテラゾーブロック貼り 其他は伊那製陶製タイル二枚毎市松貼り。

内部仕上 一般床リノリウム貼り、巾木人造研出し天井壁プラスター塗り、ペンキ塗り、1 階客溜、2 階役員室、4 階休憩室、腰羽目 (KK 内外木材施工) 床ゴムタイル又はリノタイル貼り、ビル玄関ホール増テラゾー貼り、階段人造研出し塗り、一部テラゾーブロック貼り、4 階集会室床リノタイル貼り、壁 ヒルコン入りプラスター塗り、便所 床、腰、タイル張り。

用 途

本館地階機械室、電気室、使用人室、倉庫室、其他 1、2、3、4 (一部) 階 大和紡績 4 (一部) 5、6、7、8 階 貸ビル 別館 地、1、2 階 貸店舗、車庫地階自家発電室

附帯諸設備工事

消 火 設 備

地階機械室に消火ポンプ、クッションタンク、空気圧縮機を設備し 40 ヶ所の消火栓に接続し非常の際は消火栓の開放により自働的に消火ポンプが起動する。

尚停電時には自家発電装置よりの送電により消火ポンプを運転する様になっている。

建物外壁にはサイヤミーズコネクションを設け又各階に消防隊専用消火栓を設備し消防隊のポンプにより非常送水を受けるようになっている。

上水給水設備

飲料用栓、洗面器、浴室等の衛生器具約 150 箇所には上水 (市水道水) を供給する。

給水管は御堂筋側の市配水管より分岐し地階受水槽に

受け之より上水揚水ポンプにて屋上水槽に揚水し重力により上記各器具により上記各器具に給水している。

井水給水設備

地階 2 ヶ所の鑿井よりボアホールポンプにて汲み上げ急速濾過設備により処理した後一つは冷房装置へ送り一つは屋上井水貯槽に揚水し、之より各階の大便器小便器、撒水栓等約 120 箇所に給水している。

尚お夏期冷房時にはコンデンサーよりの井水は放流することなく地階の井水受水槽に導き之より更に前記屋上井水貯槽に揚水できるようになっている。

給 湯 設 備

地階汽罐室に給湯用ストレージヒーター 2 基を設け蒸気加熱管により加熱された温水を洗面器其他約 130 箇所に供給し循環ポンプにより常時温湯を給湯している。

排水並通気設備

一般排水と雨水排水の二系統に分れ 1 階以上の排水は総て市販下水管に接続直接放流している。

本館地階にはフラッシュクリーンポンプを別館地階にはナクロックポンプを夫々設備し地階の汚水並びに一般排水を前記ポンプにより自働的に市設下水本管に排出している。

衛 生 器 具 類

陶器は東洋陶器株式会社製品を用い附属器具は須賀工業株式会社特製品及東陶製品を設備している。

衛生器具の数量は大略下記の通りである。

洋風大便器	C ~ 38	16 組
和風大便器	C ~ 1	52 組
大小便兼用	C ~ 63A	2 組
ストール	U ~ 30	40 組
壁付小便器	U ~ 23	7 組
洗面器	L ~ 340	2 組
"	L ~ 2	2 組
"	L ~ 1	61 組
手洗器	L ~ 92	1 組
"	L ~ 126	32 組
"	L ~ 8	2 組
スロツブシンク	SK ~ 22	13 組
台所流	SK ~ 18	6 組

設備に使用せる主なる機器類

急速濾過機	処理水一昼夜	25,000 石	3 基
気曝装置	特殊ノズル	100 個	1 組
ボアホールポンプ	12,500 石/日 × 6" × 50 米 × 40 HP		2 台
濾過ポンプ	3,200 立/分 × 7" × 9 米 × 15 HP		2 台
逆流 "	2,500 立/分 × 6" × 15 米 × 15 HP		2 台
消水 "	900 立/分 × 4" × 60 米 × 30 HP		1 台
市水揚水ポンプ	600 立/分 × 3" × 45 米 × 15 HP		2 台
井水揚水ポンプ	600 立/分 × 3" × 45 米 × 15 HP		2 台

温水循環ポンプ	2"×7米×1 IP	2 台
複式フラッシュ クリーンポンプ	28立/秒×5"×9米7½ IP	2 台
堅型汚物ポンプ	5,7立/秒×½"×9米×2 IP	2 台
排水ポンプ	2立/秒×½"×7米×½ IP	1 台
空気圧縮機	210立×最大10匹/平方糎×21 IP	1 基
ストレーザ ヒータータンク	丸型 径 900 耗×長3000 耗	2 基
市水受水槽	角型 1,5米×3,0米×2,0米	1 基
井水受水槽	丸型 径 1,5米×長3米	1 基
上水屋上水槽	角型 2,7米×2,7米×1,5米	1 基
井水屋上水槽	角型 2,7米×2,7米×1,5米	1 基
クツシヨンタンク	丸型 径 1,0米×長3米	1 基

電気設備

受電設備 容量 1500KVA 自家発電設備 100KVA

電燈動力設備 放送設備 出退標示設備 電気時計設備

電話設備 火災報知設備 避雷計設備 呼出ベル設備

非常用電飾設備

自家発電装置

関西電力株式会社の供給線の停電又は故障に備へて車庫地下室に190馬力ディーゼルエンジン及び直結の100KVA 三相交流発電機(3300V)を設備し、必要時には之を地階電気室に送電して全館に配布し、この発電機に依

つて各階保安用電燈、消火、排水給水、揚水用ポンプ、シャッターモーター、冷凍機、エレベーター1台への送電が可能となる。ディーゼルエンジンの振動防止のため基礎はスプリングベツトを使用している点も特徴の一つである。

電燈、動力設備

蛍光燈 約1100燈	40W 蛍光ランプ	1360 本
	20W	380 本
	17W	160 本
	10W	37 本

白熱燈 約200燈

動力設備 水道衛生設備関係 19 台 計 249 IP

キャリアー設備関係 36 台 計 720 IP

エレベーター 4 台 計 93 IP

その他

実験設備 200 KW

差込(スタンド用) 600 個

電燈照明としては全館の90%迄蛍光電燈照明を使用し、一般事務室における照度は作業面に於て平均140~150ルクス、検品室は600~900ルクスとなり、又3階には試験室、実験室がありレントゲン装置40KW、心電計室紡績製品試験機械の電源を供給している。

電話設備

地階~3階、4階一部用として自動交換機局線30、内線300回線用を3階交換機室に設け、又4階以上用としては3階別館に共電式交換機局線15、内線120回線の供給をしている。又各階床にはフロアダクトを布設して随所で電話機を出来るようになってゐる。

放送設備

3階電話休憩室内に放送室を設け150ワット増幅器を装置し、全館に亘つて32個のダイナミックスピーカーを分布して之を9回路に分け全館同時又必要局所に随意に放送しうるようになってゐる。

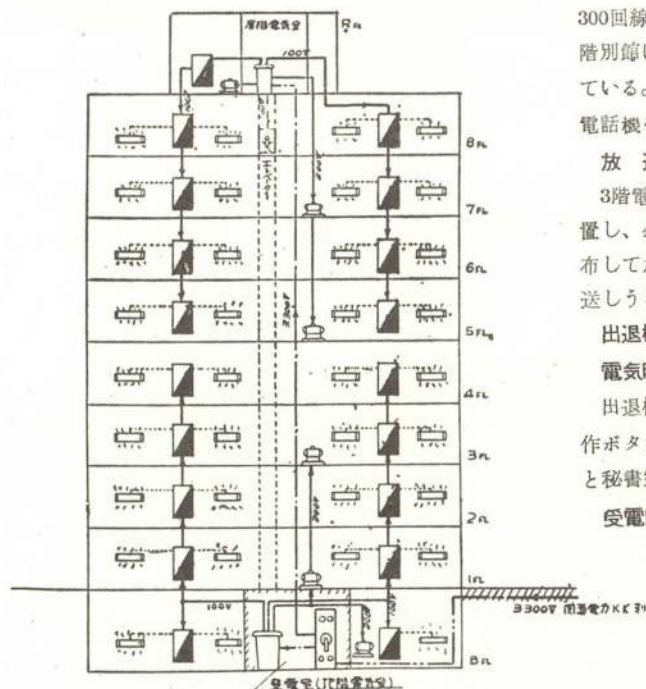
出退標示器、呼出ベル、電鈴(非常用又は時報用)、

電気時計設備

出退標示器は13個、呼出ベルは12個ともに秘書室に操作ボタンを設けて、役員の出退標示を行い又役員用各室と秘書室との連絡に用いるよう設計されている。

受電設備及び配電方式

上記の目的を達するために電気室を地階と屋階の二ヶ所に分け、地階の電気室で4階以下、屋階の電気室で5階以上の電力を分担し、その上電燈回路は夫々を東西の2系統に分けて配電し、地階電気室に於て関西電力株式会社より(地下線)3300Vを受電し一般電力回路と非常回路とに区分して、非常電力回路には自家発電装置よりの電力と切替が出来るようになっており、一般非常時回路とも地下電気室用と屋階電



第1図 ビルディング内配電方法説明図

(末端機器に送る電気を能率よくするために電気室を地階と屋階との二箇所に分け、夫々を又縦に二つの系統に分けて電圧降下が最小になるように配電されている。)

気室用に分岐して、屋階電気室に3300ボルト（高压で送ると電線が細くてよく、又電圧降下の比率が小さくてすむ）で送っており、更に両室電所で電圧を200、100ボルトに変圧して各受持の階に送っている。電燈差込用の100ボルト回路は細い電線で多くの電力を送るため100ボルト3相4線式を採用している。之に伴つて各階分電盤は主幹開閉器は4極、分岐開閉器は単極にすることが出来て分電盤の大きさと価格とが減少している。なお関西電力よりの引込線路は地下線故障にそなへて別に予備回路を引込もしてある。

受電容量	最大 1500キロワット	
設備機器	地階電気室	屋階電気室 計
受電盤	1	1
自家発電用受電盤	1	1
切替盤	1	1
高压分岐盤	8	2 10
低压配電盤	6	6 12
変圧器		
100KVA(一般動力用)	3	3
75KVA(一般電燈用)	3	3
50KVA(")		3 3
20KVA(地下 非常動力用 屋階 一般動力用)	3	3 6
15KVA	{3(別館電燈用) 1(レントン用)}	4
10KVA(非常電燈用)	3	
7.5KVA	{3(非常電燈用) 3(非常動力用)}	6

電気時計は事務室用は12"丸型ホワイトブロンズ鍍金一般型、特殊室には夫々適当したデザインの小時計（計41個）を用い、交換室に6回路の時計配電盤を設け、2階に親時計をおいて、ビルの隅々に正確な時刻を知らせることが出来る。

又時報用或いは非常用としての電鈴が全館に28個あつて、交換室、宿直室より操作するようになっている。

その他宿直室と自動車通路及通用門との間はインターホーンによつて連絡され夜間の便に供している。

火災報知設備

各階1ヶ所及自動車通路に1ヶ所の火災報知用押鈴があつて火災その他非常の場合押鈴のガラスを破つて之を押せば地下室に設置してある火災報知受信盤に発信場所が明示される。受信機に設けてある切替スイッチを切替えておけば自動的に市内消防署に直通で警報を送ることも出来る。

避雷針設備

避雷針は屋階露台中央に2基、塔屋に1基、煙突上に1基合計4基によつて建物全体を雷より完全に保護されている。

冷暖房設備

装置は1地階より8階迄の各室（総面積4,555.99坪）を一年中常に快適な温湿度に保持する為のもので其の概要は第1系統事務室（1階より4階迄）第2系統事務室（1階より8階迄）第3系統（別館）第4系統事務室（5階より8階迄）第5系統（集会室）の各系統に分け夫々地階機械室及屋階機械室、5階機械室内に設備した装置により調整している。

機械概要

1. キャリアカレンーンNo.2 遠心冷凍機(190kw電動機付) 2基
2. キャリア空調和器(第1、第2、第3、第4、第5系統) 5基
3. キャリア多翼送風機(25馬力×2台・15馬力×2台・10馬力×1台・7½馬力×2台電動機付) 7台
4. 冷却水唧筒(30馬力×2台・15馬力×1台・7½馬力×1台・5馬力×1台) 5台
5. 凝縮用唧筒(10馬力電動機付) 2台
6. 真空唧筒(2馬力電動機付) 7台
7. 空気冷却器 5基
8. 空気加熱器 11基
9. 多管式高压ボイラー(ケワニー423型) 2機
10. 自動給炭機 2基

本装置は屋階に取付けた外気取入口より必要な外気を取入れ、夏季に於ては室内よりの還気と混和した後、空気濾過器により空気中の塵埃を除去し更に遠心冷凍機により冷却した冷水により所定の温度まで冷却減湿し、多翼送風機に依り送風ダクトを通じ各室壁又は天井に取付けられたユニバーサル型又はアネモスタット型吹出口より室内に一樣に空気を分布し快適な状態を保持する様にしており、冬は外気を予熱器で予熱し室内還気と適当混和して更に空調和器により増湿し再熱器にて加熱し室内に送風して冬季の快適な温湿度状態に保持する様になっている。

昇降機設備

客用昇降機3台型式シングルラツプトラクションギヤード型種類扉自働閉閉装置附客用昇降機積載能力2.500封度・1.650封度、速度350呎/分 150呎/分荷物昇降機1台 型式シングルラツプトラクションギヤード型種類扉自働閉閉装置附 荷物用昇降機 積載能力4.00封度 速度 100呎/分

以上

（以上の工事概要は現場に於て頂いた案内書を、急いで羅列した為、非常に見苦しい点を御詫びする。尚各社より資料を御提供下さつた事に感謝致します。係記）

シンケルより

ニーマイヤーまで

浦辺太鎮郎

① 私はここで教科書風の建築史を書くつもりはありません。実は最近の話題であるオスカー・ニーマイヤー（ブラジルの新鋭建築家）に就いて彼が現在どのような世界的役割を演じて居るのか或は将来の建築の流れの中で占める地位は何であろうかと考えました。それで暫く過去150年の建築の主流の動きを顧み見たい気になりました。唯私共は外国の過去の作品と現代のものも本物を自分の目では見て居りませんし使った事もない。従つて図面や写真でシンケルとかニーマイヤーとか申ししても当を得た解釈はむづかしいのではないかと思います（両者の差異を度々見て来ました故に）むしろ主流をなした建築家の心の中に這入つて行つて彼等の作品を生んだ原動力が何であるかを把みたい気が致します。その国の伝統や環境に対して建築家が如何に順応し又は反撥したかを知りたいと思います。尙東洋の要素を故意に無視する事も此際やむを得ないと思います。

② 建築史家が常に到達する結論は「クラシック」と「ゴシック」の限らない交流と交代の姿である。之は少くともワグナーの分離法運動までを説明出来るがその後の50年は「現代建築」と言う過去とは関係のないものが生れて居るのだと私は考えて居りました。其は私が建築から人間的要素を取りはずして見て居るか或は私の人間に対する解釈が大雑把であつた限り別に不審を与えない考えでありました。けれどもこの地上に建つ建築で人間を除外したり取りはずしたりして成立するものが一つでもあるだろうか——建築はいつまでも形而下の哲学であり又「時代の衣裳」ではないかと思うようになりました。

所詮は人間の作ったものは絵画、彫刻、工芸、音楽、文学などと共に人間と言うものの構造によつて歴史の流れに二つの大きい分流を与えて居る。それはヘレニズムとヘブライズムだと思います。それは文化の二つの血液型だと思います。かつてはクラシック建築はヘレニズムを代表しゴシック建築はヘブライズムを代表する選手であつた。クラシックとゴシックとか言えば、むなしき過去の形骸に過ぎない響きを与えるが「二人の人間」——ヘレニズムとヘブライズム——は今も私の周囲に生きて活動して居る、前者は有限の生命を肯定し美酒美人を愛し

人間の感覚で把めるものを真実だとする。科学を好み科学以上のものには信を置かない。常に客観的な判断を下し形式を尊ぶ。後者は無限の生命にあこがれ人間の真実を愛し社交的虚偽をきらい人間の感覚で把めるものを必ずしも全部とは信じない。そして常に自然の讃仰者であり時に人間ぎらいの殻にこもる。主観的な判断を下し形式に把われない。このような二人の人間はどちらが歴史の担い手になつたかで常に唯物史観の範例を破つて来ました。ゲーテとベートーベンに離れて居る時には互に尊敬して居つたが会つた時にはお互いにいやになつたと言われて居ります「二人の人間」をこの両巨星にも見出すわけであります。

日本の高名な建築家であつた氏と氏（共に故人）は車中で偶然に会いました。氏は近着の外国雑誌に出て居る作品の評を試みました。

E氏興味無さそうに「僕は向うのものは見ない」

S氏驚ろいて「では君は初めから設計させるのかね」

E氏も又驚ろいて「だつて外に仕様がないよ」

私は二人の建築家の作品に接する度にS氏にヘレニズムを氏にヘブライズムを感じます。日本では常に二つの流れが混流して居り同じ人が同じテーマを同じ場所で同時にやつても恐らく対立したものが出来ると思われる。それは世界の主流に追隨して行かざるを得なかつた悲劇であり同時に喜劇であります。

③ 本論に帰りカール・フリードリッヒシンケル（1781～1841）に就き自分の視察を書きたいと思ひます。シンケルは申すまでもなく、古典主義建築の巨星でその声名はゲーテと並び称されて居つた。当時のルネッサンス様式はバロック期により形を失つた上にロココ期によつて力をも失い新興の皇帝が要求するローマ文化の昔を伝えるべくもない無気力の姿であつた。シンケルは科学的正確さを持つてクラシックの創業の昔にまで遡つて形を求めヘレニズム文化の大精神を把んだ。ゲーテが田舎言葉であつたドイツ語をクラシックの研鑽によつて「世界の言葉」としたと同様にシンケルはゲルマンの田舎建築を世界の建築にまでレベルアップした。私は単にそれ丈であれば時流を率いて時流に乗りその頂点に立つたクラシック建築家としてより外の尊敬は持ち得ないのでありますが——それにルネッサンスの伝統を持たない日本人としてこのクラシック革命がシンケルに取つて如何に大事業であつたかも切実には感じられないわけですがシンケルが漸次ロマンチズムの流れに移行して行つた事は争えない人間的要素を感じます。シンケルが中世初期のゴシックの建築を目のあたりに見て自分の中にあるヘブライズムを見出し茲に自分の郷里があると言つた事はヘレニズムが結局は借物であり自分の職業的な衣裳であつて自分自身では無かつた事を告白したものであ

う。頑固なまでに自己を守り借物のきらいなイギリスでは大陸のクラシック流行にもあまり日移りせじ遂にジョン・ラスキン(1819~1900)の北方民族の伝統的な芸術はゴシックである。と言うゴシック復興の叫びとなつて現わした。茲に後のアールヌーボーまで影響するロマンチズムの運動が主流となつて逆に大陸にまで影響を与えて来る(ヘブライズムはロマンチズムと言う変名を使うことが屢々である)

シンケルは自分の思想と血との相剋に苦しみ時代の流れにその姿を見て遂に次のような千古に残る言葉を吐いたのではないだろうか。

「我々は何故常に過去の様式に従つて建築しなければならぬのか?我々は何故自分の時代の様式をつけようとしぬのか?」

このシンケルの叫びの中に近代人の自覚を見ます。それはシンケル自身で見出されない様式ではあつた。然しこの探求から現代建築は自己の道を発したのではないであろうかと思ひます。

④ いつの時代でも「要領のよい」人へレニズムでもヘブライズムでもない人、そうかと言ってそれ以外でもない人が反つて、両方の面子を立てたと言う効能書をつけて「折衷様式」と言う手料理をすすめる。この手料理は一見うまそうに見える。何故なれば歴史の流れの外にあつた何々文化と言う薬味まで添えてあるから、又もつと変つた人は「之は昔のサラセン人が喰つて居つた主食で一寸手に入り難い美味です。一度御試食を」と言う。そんなものが近代人の常食になる筈がない。

シンケルの投げた疑問は遂にオットー・ワグナー(1841~1918)に至るまで解決がつかなくつた。

⑤ 私はここでウイーンセセッション(1897年)についても教科書風のことを記す煩を冒したくありません。間違つてもよいから自分の言葉で言いたいと思います。一つの運動は時代の力がなければ大きくならないし又生れる筈もない。然し客観的な時代の力丈があつてもそこに主観的な人間の力がなければ一つの文化運動とはならないと思います。産業革命を除外して近代建築の流れを見ることはおかしいが産業革命があれば必然的に、人間の自覚と無関係に建築革命も起るのだと見るのもおかしいし、歴史はそのよりになつて居らない。諸国にさきがけて紡績業を先頭にして産業革命の開始された英国の当時の紡績工場を見れば思い半ばに過ぎます。ゴシック風の建物の中で産業革命は漸次行われたのであつて一躍にロンドンの水晶宮(1851年)の中で行われたのではない。水晶宮のエツプエル塔(1889年)はふり返つて見て産業革命の一つの記念碑として見ることは出来ます。然しその事を人間が自覚して、意識的にやつたのであり大衆も又之れを自覚して居つたのだとは申せないと申ひます。

寧ろこんなものは見せ物的のもので当時の権威ある(又は権威のない)建築業が建築として待遇したかどうかさえ疑問に感じます。時代の本流を把まえると言うことはその時代の中にあつては至難なことだと言わなければなりません。兎も角ワグナーの前にあつて「建築はただ一人の主人を知る丈だ。それは、必要と言われる」と言つた。ゼンバー(1803~1879)の勇氣と時代を見る目の確かさについては尊敬の念を新にします。みんながモーニングを着用に及んで居る中へ唯一人それも自分で仕立てた仕事着を着て出ることには勇氣を要することでありまして仕事着こそ時代の衣裳だと言つてのけるには余程の確信がなければならぬ。彼がたまたまこの勇氣と確信に満ちた人物であつてもそんなことを公言すれば紳士諸君の反撃を喰ひ彼の社会的地位は危険に陥いてありましよう本流はかくて俗流の底をのみ流れます。

然しワグナーは將にその通りを実行した。シンケルは皇帝の衣裳らしく端正で堂々たる威風のクラシックを作つたがそれは庶民には重くて不経済で滑稽でとても着られない。ラスキンは自分の身体に合つたゴシック服を主張したがそれは貴婦人は情緒を与え或は農民の御祭着にはよかつたかも知れないが工場の作業服にはならない。時代の要求したものは工場作業服であつた。然し之には伝統もなくそんなものは一流の仕立屋は見向きもしないものであつた。作業服を着る人自身が作業服よりも紳士や貴婦人の方の衣裳を見まねしたものを着たがる状態にあつては先ず常識圓滿な一流の仕立屋はつまらぬことをして店の信用を害するような振舞はしなかつたであらう。唯ワグナーのみはこの作業服に実用様式、Nutz-Stil と言う名称を与えた。人間の身体をまず素裸にしてその身体に要求する処に従つて衣裳を作るべきだと言うのが彼の主張でありその為には既製の仕立法や型は御破算にすべきだと言つたので同業者の非難を一身に受けた。ワグナーの如き偉大な建築家を仕立屋風情と同列に扱うことは當を得て居らないけれども私のように日本と言う片田舎のその又片田舎の生れの者には当時の姿を外に表現する言葉が見付からない。

上記のワグナーの人間の要素は俗流に煩わされないヘレニズムの流れである。「実用」又は「必要」と言う響きの如何にヘレニズム(的)であることか!そしてこの

仕様書に赤いお忘れなく

ケントクワックスを!

大阪 東區ガスビル裏 K K ケントク 北區(27)4905
東京 神田小川町三泰ビル東京 ケントク 電 田(25)1364
名古屋 瑞穂江江町2の1 K K ケントク 電 本局(23)4578

中から始めて科学が建築の中に大手を振って這入れる結 論が得られる。クラシックにあれゴシックにあれ異質で はあるが「芸術」だと主張して来た。科学は芸術の殿堂 には表玄関からは出入り出来ず裏古から恐る恐る這入れ ※ 位が落であつたが建築が「実用」と言う看板をかけた からは寧ろ第一の賓客として扱われるようになった。 ⑤ ワグナー以降の動きを便宜上一覧表として見ます。 (私共の経験と関連して) △

西紀	日本	主 要 記 事	備 考
1894	明治27	オットー・ワグナー「実用様式」 ヴァンデ・ベルデ「アール・ヌーボー」	
1897	明治30	ウィーン・セセツション創立	伊東博士により「建築学」なる名称生る
1901	明治34	ダルム・シュタフト芸術農村展	
1909	明治42	ペーター・ペーレンス「AEGタービン館」 マリネットイ「未来派宣言」	佐野教授「実用建築」を論ず
1914	大 3	第一次世界大戦始る	次年野田俊彦「建築非芸術論」
1917	大 6	ライト 帝国ホテル設計(大11 竣工)	ロシア革命起る
1918	大 7	第一次世界大戦終る	
1919	大 8	ハンス・ベルチツヒ「伯林大劇場」 // ワルター・グロピウス 「バウハウス、ワイマール」	
1920	大 9	コルビュジエ「エスプリ、ヌーボー」 // 日本分離派建築会創立	
1922	大11	上野 平和博	
1923	大12	関東大震災	
1925	大14	グロピウス「バウハウス、デッソー」	
1926	大15	グロピウス「国際建築」	之れは「バウハウスビュツヘル」による
1927	昭 2	日本インターナショナル建築会創立	
1930	昭 5	「バウハウスベルリン」解散	之れは「ナチス」の圧力による
1932	昭 7	5.15事件 日本青年建築家聯盟	
1934	昭 9	ブルノータウト「ニツボン」	
1937	昭12	支那事変始る	
1945	昭20	第二次世界大戦終る	
1951	昭26	堀口捨己「八勝館」	
1952	昭27	日本独立(明治85年なり) レイモンド「リーダスダイゼスト支社」	

△ワグナーの実用様式に対し同様の主張を掲げヴァンデベルデが「アールヌーボー」を提唱した事は再びヘレニズムに対するヘブライズムの反作用でありましょう。この場合は自然激仰があまりにも直訳的であつたので一つの刺戟剤として終りました。ワグナーの門下から出て出藍の誉のあつたオルブリツヒは実用様式の忠実なる敷衍者と言うよりは寧ろ個性的なヘブライズムの中に加へるのが妥当な作風を持つて居ります。何れにせよ実用様式の発成の爲には次代の人を俟たなければなりません。

⑦ ウィーンセセツションから出た流れは独乙に入り「近世様式」(Jugend-Stil)と呼ばれ郷土化した一方実用的で工学的な建築に発展しますがこの中で忘れることの出来ないのはペーター・ペーレンス(1878~1949(?))の活動であります。ペーレンスの門下にグロピウスとコルビュジエが青年時代を過した事は現代建築史に人間的要素を加える点で興味がある以外に、この機能主義的○

○ 合理主義建築の両巨星の成長の上に与えたであろうペーレンスの影響は見のがす事が出来ません。ペーレンスに至つては完全に過去の様式の影響から離れシンケルの言つた「自分の時代の様式」を作つて居ると思います。ペーレンスは又シンケルと同様にヘレニズムとヘブライズムとの相剋に悩んでは居るが彼の場合は内面的なものと言うよりも外面的に実に鋭敏な時代感覚をもつて時代に

建築寫眞

ユニヴァース写真工藝社

森 庄 次 郎

大阪市南区笠屋町4番地
(低周防町三休橋筋角)
電話 南 ⑤ 0240 番

順応したと言つた方が妥当だと思います。兎も角ドイツの建築家はその国の政法と同様に何か安定しない傾向があるように見受けられますが現代建築探求の激しさは大した事ではありません。

⑧ 私共が現在納得して居り又承認して居る建築は何であらうか——既にアカデミックとさえなりマンネリズムに陥つて居るかの如き現代様式はその端緒をグロピウスとコルビュジェの理論と実践によつて開かれたものであるとする事に異論はないと思います。私自身京大在学中に同級の建築学生が作ったデザムと言うグループで将に飛びつく様な格好でグロピウスやコルビュジェを吸収して居りました。それは昭和5年(1930年)から3年間のことです。然しその当座世間知らずの鈍物の学生がいかに勉強したからと言つて一人前の「建築家」の見識に達せられるべくもありません。建築の部品の知識は充分学校で教わるわけですが之を総組立する思想或は理論は学校の講座より求められずその渴望をグロピウスの国際建築の思想に或は建築生産の工業化の理論に求めたりコルビュジェの飛躍した形に求めたのだと思います。何れにしても建築の本流から離れその伝統もない代り束縛もあまりない国で学生と言う自由な社会的立場にあつた当時は主観のおもむくままに行動し突き当り反響し順応して、単にワグナー以降の建築史でなく有史以来の建築史を身をもつて実行するのですから丁度小供が人類の歴史を短期間に反覆し乍ら成長するのと同じ様なものだと思います。まづ結局自分自身のことが一番分つて居らない。グロピウスの事の方が自分自身の事以上に詳しい。建築が分ると言うことは人間が分ると言うことを除外しては駄目なのではないかと思いました。グロピウスは「工学的人間」の上にコルビュジェは、「生物学的人間」の上にその実践を進めて居つたのだと思います。私共の場合一見全人格的な人間と言うものを考えて居るらしく誤解して時にこの両巨星の想定する人間が如何にも本論者のように反撥した事もあります却つて私共の場合は他所には通用しない事なる風土的人間であつたり、科学を知らない原人であつたり産業革命以前の人間であつたと思います。グロピウスにせよコルビュジェにせよ人間と建築との間は気まぐれや空想で決めるべきものではなく科学的方則

で律すべきだと主張したのだと思います。このような科学的な見方はヘレニズムの合理主義だと思います。コンペーヤーシステムの大工場と其中で働く人間との関係を仮に例に取つて見て建築家が最も重要視す必要のあるのは上記の科学的見解であつてそれが無視されたならば大工場が潰れるか或は人間が潰れるかそのどちらかであつて両者両立はむづかしいでしょう。ヘレニズムは常に大工場ですがヘブライズムは次の夢をすてては居りません。ラスキンの衣鉢を伝えたウィリアム・モリスは「芸術とは労働の中の喜びの表現である」と言つて居ります。中世的な手工芸の仕事場にはそれがありません。

⑨ 余談が長くなつて気がつけばもう何とか纏りをつけなければならぬ時です。私はニーマイヤーについて斯く感じます。自ら言うようにニーマイヤーは正統機能主義の段階を勇敢に克服しつつあります。彼はヘレニズムの支配する現代建築の発成期に於ける暁の明星にもたえることが出来ましよう。然しその後に来るべき黎明は果して黎明であるだろうか。ヘレニズムの世界からのみ見ればそれは丁度ルネッサンスに於けるバロック期の黎明であり建築全体から見れば一つの様式化されたものの「たそがれ」を告げる宵の明星でないとな誰か断定出来るでしょうか、目を転じて二人の事業家のニーマイヤーに対する見解をもつて結びたいと思いますがそのA氏はヘブライズムを代表しB氏はヘレニズムを代表する典型的性格の人であります。そして共に始めてニーマイヤーの作品写真を見ての即答です。

A氏「形の飛躍はあるが精神の飛躍は無いね」

B氏「こりやビジネスオンリーだいいね。然しこれをやつて居ると結局イーストマン社長の自殺になるぜ」人間のあらゆる感覚的慾望を満足したイーストマンの社長は彼に残された唯一の仕事——自殺——をしてその一生を終つた。私は明治2年(1869年)の生れである彼のフランク・ロイド・ライトの不滅の業績を思い浮べました。ゴシックを水平にしたと言われるあのライトを！そして又ローマ皇帝の衣裳の再現としか見えないソヴィエート現代建築の野性の力を！

(筆者 倉敷レイヨンKK営繕部長)

杭

説明書及ビ防潮
ノ嵩土盛土地帯
に於ける実績表
進呈

特許
特許

武智式鉄筋混凝土杭基礎工
日信三角型鉄筋混凝土杭基礎工
測量・地質調査・地耐力測定施工

特長 砂利充填による特殊施工法
支持力強大。工事迅速。工費低廉

株式会社 武智工務所

取締役社長 福留並喜

大阪市西区西長堀北通四丁目宅〇 細野ビル三六号
電話新町③九九五~九九八番

新設備—衛生設備の分野

小 川 誠 耳

1) 衛生設備の分野で、現在までのところ、そんなに目新しい設備といつては、実現していることを、私は見聞していない。もともと、衛生設備というものは、暖冷房・空調などとは全然物質を異にし、建物という以上は必ず設備さるべきもので、湯水がなくては人間は一日も住居はできない。年中無休で働かされる設備で、なかなか修理も取替も充分にする暇に乏しい関係もあり、新設備への転換も緩慢にならざるを得ないし、使い勝手の急に変るのも使用者にかえつて不便や事故をおこさせる原因になることもあり、いきおい急進展は望めない性質のものかもしれない。

2) 概して言えば、ここ10年以上もの間、わが国の衛生設備は、それ以前よりはグツと退歩した。その、10年以前といえども、わずかにわが国の衛生設備らしい形態を示し始めたに過ぎなかつたのだと言つてもよい程度のもので、現在でもまだまだ資材・製品・工法ともに、その旧にさえ復したとはいいがたいのであるから、ほんとに衛生設備としての面目を表わしてくるのは、今後だと言つてよい。去年あたりからのように、本格的な建物が建ち始めれば、次第に新設備も新装置も出現してくるのではないかと期待し得るが、さて、この地球の情勢やわが国の諸事情が一体どう転変してゆくものやら、もひとつハラのすわらないような気持でもある。

3) とはいえ、さまざまな改善を要する問題や、新企画・考案や、新知識吸収への熱意や、技術者・工員の養成や、もろもろの胎動がはなはだ盛んであることはうれしい事実である。これらは次第に解決し、実現し、具体化してゆくであろうと期待できるし、すでに芽生えている向もある。そこで、ここでは、私の知っている、それらの事柄につき記してみたい。

4) アメリカは世界中で最も衛生設備の発達した国だと言えるし、わが国の衛生工事が従来とも採つてもつて範としてきたものであるが、ここ10年来ごぶさたになつておつた。このごろ、その間の事情が少しづつわかつてみると、大した変化ではないにしても、かれこれと改善・進歩のあとが伝聞されてくる。ともかく、刺激や示唆を受けることは、ありがたいことで、大いに参考になることが多い。

5) 鉛が世界的需給の割合や輸入などの理由で非常に乏しくまた高価になった。銅との値幅が昔とは格段に接近した。こうなると、鉛管よりはさまざまな利点をもつ銅管の方がよいということが考えられ始めた。シカゴやニューヨークの実状は、給水管は銅管か黄銅管だそうである。何よりもその耐久性がガス管や鉛管に数等優る。建物の耐用年数と合致しない管材を用いておくことは非常な不経済であるというのが最大の根拠である。もとより銅・黄銅の管を使いたいことは山々だが、さてわが国ではどんなものかと昔からチユウチヨしていたくらいで、今後の国情ではゼイタクに属しはせぬかと気がとがめていたが、最近都市の水道課が引込給水管に使用し始めた。銅管を使用するとなると、まず第一に人体に有害かどうかが重大問題となり、脱酸銅管でなくては行けないときまるまでには議論がなかなかムツカしかつたり、黄銅は危険で青銅ならよいとか、もうとつくの昔解決していたものと安心していい加減工事に使つてきている黄銅が、いまさら近代化学や分析学で改めて論ぜられている始末である。銅管にしても、その継手や接合方法も急速に研究しなければならぬが、これには資料も不足だし、種々の不都合が銅管の JIS にも見出される有様である。さらに、これを給水のみならず給湯配管にはどうか、排水通気管にも使用したらどうだろうか、と意欲は動く。いずれにしても工費絶対額はガス管や鋳鉄管より高価にはなるが、耐久性にとらみ合せてどんな比率になるか、などなど。今後の大きな課題の一つである。

6) 戦時中の爆撃の震動で水道本管の接合がユルンでかなり漏水している。その上無数の焼失家屋に引込んであつた鉛管が地中で溶けたままのが随分そのままになつていて漏水している。被害都市の水圧(ことに東京都)は戦前よりグンと低下したままである。これを完全にするには全部布設替をするよりはかに手はないところまでできしており、しかもいつになつたら戦前並にでも復旧できるのかそのメドもなく、昨今では防火用水にも事を欠く実情の地域が多く、まして2階へさえも自然上昇はおぼつかないところがザラで、1階の洗浄弁も完全には作動せず、ガスヒータの水圧式自動点滅も不可能となつている地域が多いような状態の水道になつた。だから、建物に

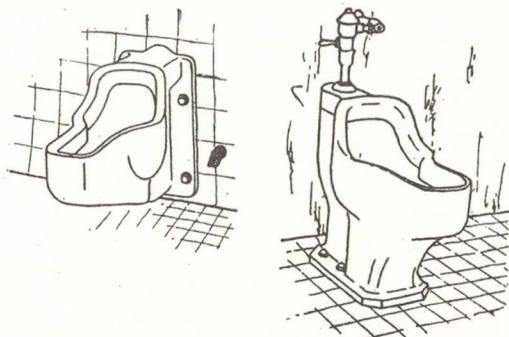
は防火用水タンクや受水タンクに、まず一定量を貯留しておかないといけないことになってきた。正しく衛生状態の退化である。なさない水道である。かかる水道では断水またはそれに近い状態を呈することもしばしばとなり、配管中に負の圧力を生じて漏水箇所からは逆に地中の汚水を吸引する虞があるというので、アメリカさんは消毒用塩素量を戦前の5倍も入れさせた。だから水道水は薬臭くなり、茶の味もイトドましくなつた。戦前には、これ以上塩素量を増すと人体に害があると言つていたのに、今はその5倍も濃いのを毎日飲されているのだが、これもわが国人の肉体にはなにか影響がありはしないかと私は不安を抱いている。由来アメリカのような大陸的な土地では、よい水源が都市から遠いので、大きな近所の湖水から引水して沈澱池で荒ゴミを沈ませ濾過もろろくせずに消毒だけしたのを供給し、一方下水処理場からはまたその湖水に放流しているといった式のもあるくらいで、何しろ殺菌だけ充分であればよいのがタマエになり、薬臭くないと安心して飲めないのが常識になつている都会人種が多いから、臭いぐらいいんとも思わない。それで、水質や臭味は衛生工事業者にはなんとも致方のない事柄だが、問題はこの塩素量が、給水鉄管を腐らせる力がどのくらい強くなつたか、ハッキリとした証拠はまだあがらないが、ともかく悪いことだけはよくわかるのと、水センの皮パッキン（これを通称コマカワと言つている）を痛めることは明確になつた。一箇月もたつと、もう皮表面がジャンコになつてきて、すぐに漏水を始める。そしていとも水圧低下の原因をつくる。30年も前から、アメリカからの輸入品のあらゆるパッキンはみな硬質のゴムのようなものであつて、皮はけつて使つてなかつた。なぜ皮を使わないのかと思つていたが、敗戦してみてもナルホドと思ひ当つた。皮をパッキンに使うのは水センばかりではない。それがみんなダメだとわかるとアワテざるを得ないが、さて代品の適当なものは見当らない。が、どうしても至急にどうにかしなければならぬ。これも目下の緊急課題の一つである。

7) そこでこのごろ発達してきた Plastic 系統の製品が非常に注目されてきた。さしあたり皮パッキンの代り

に Plastic 製品を決定した水道課もできてきた。プラスチックビニール系統の材料は、将来非常に広範な用途をもつ資材になると思つている。衛生設備の分野でも早くこれに着目研究しなければならぬと思つている。高熱高圧の配管のパッキングには、従来世界でも困つていたが、その程度によつては Plastic 製品がアツサリ王座を占めてしまつているのがある。耐酸耐腐力も充分持つように造れるし、もうすでにアメリカではネジ接合の管を製造する会社が衛生工事の用途に適すると広告している。金属管に比して重量において $\frac{1}{8}$ だし、工費において40%を軽減し得る、と称している。さしずめ、排水通気管には使えると思う。金属管に比して強度や耐火性に不足はあるが、金属管には無い利点もまた多い。ただ、当分わが国では値段の面で問題にならないかもしれないが、研究する価値は充分にある。

8) Plastic は透明な管を造れるから、管内の流水状態、ことに排水管内の流下状態やトラップ封水の自己サイホンの発生と気圧関係などを調べるには便利この上もないので、いろいろな実験に利用している結果報告の掲載されている雑誌などもあつて、この方面でも有用な資材である。そのほか衛生器具の部分品、たとえば水センのハンドルや軽量の器具のブラケット、洋風大便器の便座やそのバンパ、シャボン入その他の附属品、ビニール製のシャワカーテン、なかには洗浄弁内の上下動をするピストン式弁体などにまで利用している。おそらくシステム内のサイホンとかフロートボールなどにも利用し得ると思う。

9) アメリカで最近流行し始めた衛生器具に Sanistand がある。for Women. であるから小便器である Straddle type とあるから、これはわが国でイナカのおばあさんにはよく見うけた、おつ立てジリの、あいつである。いまにアメリカでは女便所にも大小の別ができることになるかもしれない。考えてみると愉快である。だが、しかし、こいつはわが国ではどうも流行しまいと思うがどんなものだろう。ところで、なぜこんなものが考案され始めたのかというと、腰掛便器というやつは、便座が不衛生きわまるもので、また女性が小便にいちいち膝をかけるのもオツクウなものだから、手早くマタイだままで用を足すのが多くなつたのによると推測できる。そこは Lady First の国柄だけに、それを見てとつた男性側が、ご婦人に便利ようにごきげんを取結んだものであろう。ともかくナブキンや綿が薄布ぐらゐは排水し得るサイホンゼット式であり、器具に直接膚を触れずに済むから病菌は付着しないし、極めて衛生的なものだと広告している。アメリカ人といえども器具や便座に膚を付けるのをいかに気持ちわるがつているかは、この広告文が裏書しているのがおもしろい。さらに、男子が使用



しても一向さしつかえないとも書いており、たしかに早グソのアメリカ人なら、中腰のままでもガマンできるだろう。いまに、あるいは、アメリカでは大いに便器の一大革命がおこつて、腰掛式が一掃されるようなことになりでもしたら、まさにこれ、衛生工業界の世界的事件ともなり、その年の Big News Ten. のなかに数えられるかもしれない。

10) 器具に満水すると上縁からアフレる。このとき水センの吐水口端がこの満水面下に没するような組合せになつていると、もしかような場合、運悪く給水管が断水または気圧低下をおこすと、ヨゴれた器内の水を吐水口から給水管内に吸引する虞がある。これを防止するため満水面と吐水口端との間に必ず空間ができるようにしてなければいけない。しかもその垂直距離を、吐水口径や形状によつて具体的に数値で示した規格をアメリカではつくっている。ただ離れているだけでは不十分だというわけである。それによると、いまの JIS の洗面器に、JIS の立水センを取付けただけでは、その規格の許容最小空間長よりもはるかに小になる。アメリカでもこの空間規格に合格しない組合せが多かつたとみえて、このごろの洗面器の水センは吐水口をカメラ首のようにしてみたり、合をつけて高く取付けたり、陶器自体に水セン取付部が高くなつたりしている。これは純理論的な現象で試験の上定めた数値であろうから、早くわが国でも採用したいものだと思つている。ただに水センだけでなく、洗浄弁などでは、かかる空間を採るわけにいかないから、真空破り器を具備したものでないといけないうことになつていながら、さてこの Vacuum Breaker の、これならという完全・永続性のあるものは、アメリカ品にも見受けられない。和製品にも感心するほどのものはまだ現出していないと私は思つている。もひとつ、うなずける Idea ものものが早く発明されることを念願する。その他ボイラとかシスタンとかに直結する給水管には、本管との分岐点以下に必ず Breaker をつけなければならないことになつていながら、こんなにヤカマしく言出したのは、建物内配管がますます複雑化して、かなり問題や間違があつたからだろうと想像できる。ころばぬ先のツエで、わが国でもこの点今から充分関心をもつてよいこと

だと考える。

11) 洋式建築で、便器を洗浄する水音、シスタンに水の流入する音などは、ウルサくもありよい感じのものでない。が、わが国ではここまで気を使つた器具も工法もまだ考えているものはない。しよせん無音にはならぬにしても、アメリカではこの点も気をつかいたしたとみえて、便器にも Quiet とか Silent type とか特に広告しているのが目立つ。これらも今後もう一段と各 Maker が関心をもつてほしいと考える。

12) アメリカではラジオやテレビのダイヤルをつまんで回すのが半ば習性化したせいか、水センを何度も回して開閉するのなどは、バカげてきたのか、洗面器の湯水センなどは、それ自体は器の裏下側にかくれて、器のバックは45°に傾斜し、その斜面にダイヤルのツマミの少し大形のが頭だけ出しているだけなのがある。中には洗面器の両側の壁際に横に頭を出しているものもある。これらの水センはみな90°ぐらいの回転で急開閉するものであるが、わが国では今もつて水道課が、急閉式は水撃 (Water Hammer) をおこす危険があると言つて直結使用禁止である。ロクな水圧もなく、気のきいた水撃などは起そうと企てても、どうにもおこせないような水道のくせに、あまりにも理論的な旧弊式禁止である。何十ポンドという水圧をもつアメリカでさえ使わせているところを見ると、なにか水撃後装置がしてあるものと思うが、水使用者に便利に能率的に水を使わせるよう、水道課の心構えから変えてもらわねばならず、さてさて回りくどいことではある。

13) ここ10年ぐらいの間に、アメリカでは料理の廃物を処理する Food Waste Disposer がおびただしく普及したようである。これは料理流しの下に小さな電動粉碎器があり、流しから肉野菜などのクズを落しこんで始動すれば、魚骨ぐらひは粉碎して水液とともに排水管に送出す装置である。何十階という建物で料理クズを捨てることは大変な手数と費用であろうし、ダストシュートの投入口などというものは極めて非衛生的な悪臭悪ガスの発散口となるであろうから、致方なく普及したことと推定できるが、この排気液はかなり一般排水と性質を異にし、一般流しと同様な排水配管へ排出すると、他器具



近代建築の粹

世界の市場に雄飛する

床材は リノリュームと リノタイル

東洋リノリユノム株式会社

取締役社長 斎 信 敬

本社及工場 兵庫県伊丹市伊丹五五八番地 電話 伊丹 1・51・69
東京支店 東京都中央区銀座四丁目(三和ビル) 電話 京橋 1701・2564
大阪事務所 大阪府東区瓦町二丁目(三和ビル) 電話 北浜 375・376

TOYO'S LINOLEUM & LINOLEUM

や他の家庭の器具のトラップ封水に異状を生じさせる虞があるので、そのことに対する親切な解説や図解を示して業者に衛生監督官が講演している記事のある雑誌も見受けられる。

14) アメリカの消息はこのくらいにして、さて、わが国では、終戦後衛生工業協会規格 (DSS) のうち、衛生陶器・給水セン7種は JIS に移し、残りの給水セン数種と付属金具の DSS も決定し JIS に移す予定であり、洗浄弁膨脹継手・ラジエータトラップの規格および試験方法なども決定している。洗浄弁の規格などはアメリカにも無いと思うが、現在市販の大部分の洗浄弁を実験した結果は、まだまだ改良の余地は多々ある。

15) 洗浄弁は一般に給水本管の最低水圧が 1 kg/cm^2 以上ないと使用できない。だからそれ以下のところでは直結使用はアキラめた方が無難である。だから、今後はなるべく便器洗浄にはロータンクを使用する方がよい。また、元来洗浄弁を完全作動させるには、相当太い管径が必要であり、工費はかなり多額になる。それよりも、資材をなるべく節約する意味から言つて、特に洗浄弁を必要とする箇所や事情のない限り、なるべくロータンク式でガマンするのがホントだと思う。

16) 現在の和風大便器の排水口は4"である。これはこの水洗便器を考案した際、いかなる理由によつたのか、もはや今日ではハッキリとした資料に乏しいが、西洋人より糞物を多く採る人種だから便量も多いということも考慮の一つだと聞いているが、このごろでは随分洋風便器も使っているわけだけれども、便量のため洋風便器が

つまつたという話も聞かない。洋風大便器は3"穴でありしかもサイホン式の排水路は数屈節ある上にその各節の断面は円形ではなくダ円であつて、狭い方は2"ぐらいのところもある。それでも特に異物が投入されない限り便や用紙や薄布や綿やタバコの吸殻ぐらいではツマらないどうも排水口が大きいと、かえつて大きな異物を投入する傾向がある。しかも排水横引管径を太く太くとの要求が多く、5"に採り6"にすることがかなりある。しかし排水横管を太くするほど洗浄水量を多くしないと、汚物を押流すだけの水深もなくなり流速も出ない。水量を増さず太くだけしては一層ツマリやすいのである。だからいま和風便器の排水口を3"にし、せめてホイホン式かゼットだけでも備えた陶器の構造にしたものを考案試作してもらつてもいい。同時にトラップや排水管との連絡方法も、バテをつけて押込んだままの、現在の工法をどうしても改良しなくてはならぬ。かくして排水管も3"で済み、同横引管も4"で済ますようにすれば、相当な資材の節約になる。アメリカ規格では大便器16個まで4"の横引管に合流してさしつかえなくなつている。わが国では昔から貧乏なくせにとんでもないゼイタクをしているのである。何分現在では衛生工事に対しては何等の法規も条例もなく、不備不衛生もムダも指摘する規準もない有様で、工費を安くしようとするれば、ある程度はどうでも勝手なことをしていてもよいのである。いかに民主主義は自由を尊ぶからといって、いささか自由すぎる衛生工事業界なのである。

(筆者 齊久工業株式会社常任監査役)

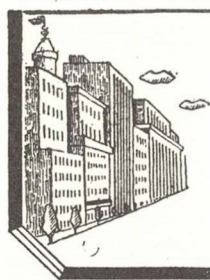
會 告

現下の住宅難に鑑みましてその緩和方策の一端として会誌に斡旋欄を設けます故、譲渡及賃貸御希望の方は次の要領で申込下さい。(紙上匿名とす)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1、配置図、所在地 (最寄駅等) | 1、敷地及建坪数 (略図を附すること) |
| 1、構造概要 | 1、価格 |
| | 1、その他 (環境、瓦斯、電気設備) |

右申込を受けましたなら次号の会誌に掲載 (但し不適當と認めた場合は採用せぬことあり)、その問合せに対する接應は協会事務局にて担当、結果は掲載申込者に通知します。申込料不要。

日本建築協会 住宅委員会



建物クリーニングの店

創業30年 古い歴史と新しい技術

ビルディングのクリーニング工事 } 請負
古い住宅が新築同様になる美素工事
新築住宅にお手入れのいらい美素工事

株式会社 美素工業所

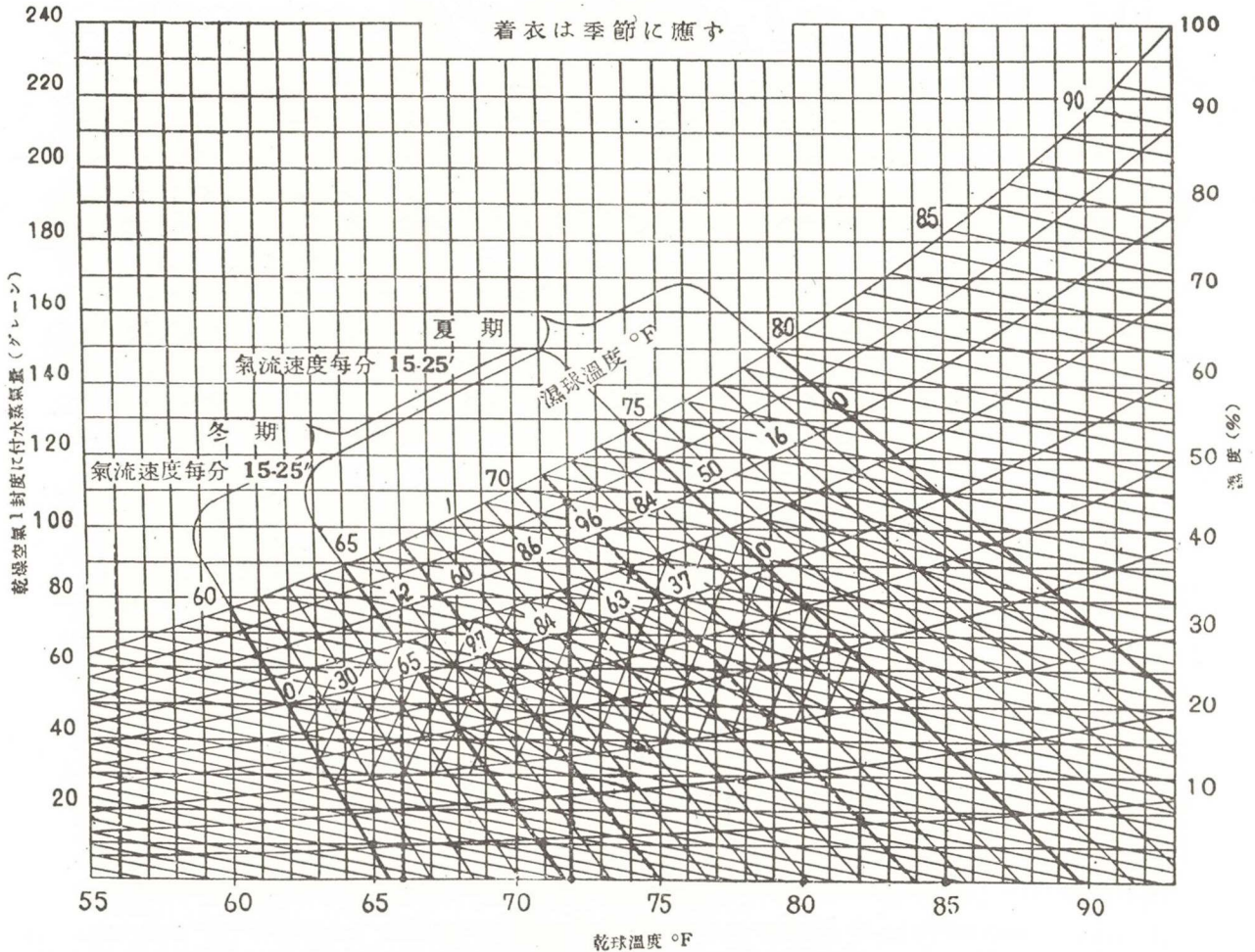
大阪市東区瓦町 (堺筋) 三和ビル三階 電話北濱 5888番



カタログ贈呈

キャリア空気状態図表

冬期及夏期快感帯記入



(註 キャリア空気状態図表は東洋キャリア工業株式会社カタログより転載せしものであり、又裏面の指数図は前月号に掲載せし建設工業経営研究会よりの標準建築費指数図4の一部転載の続きである。

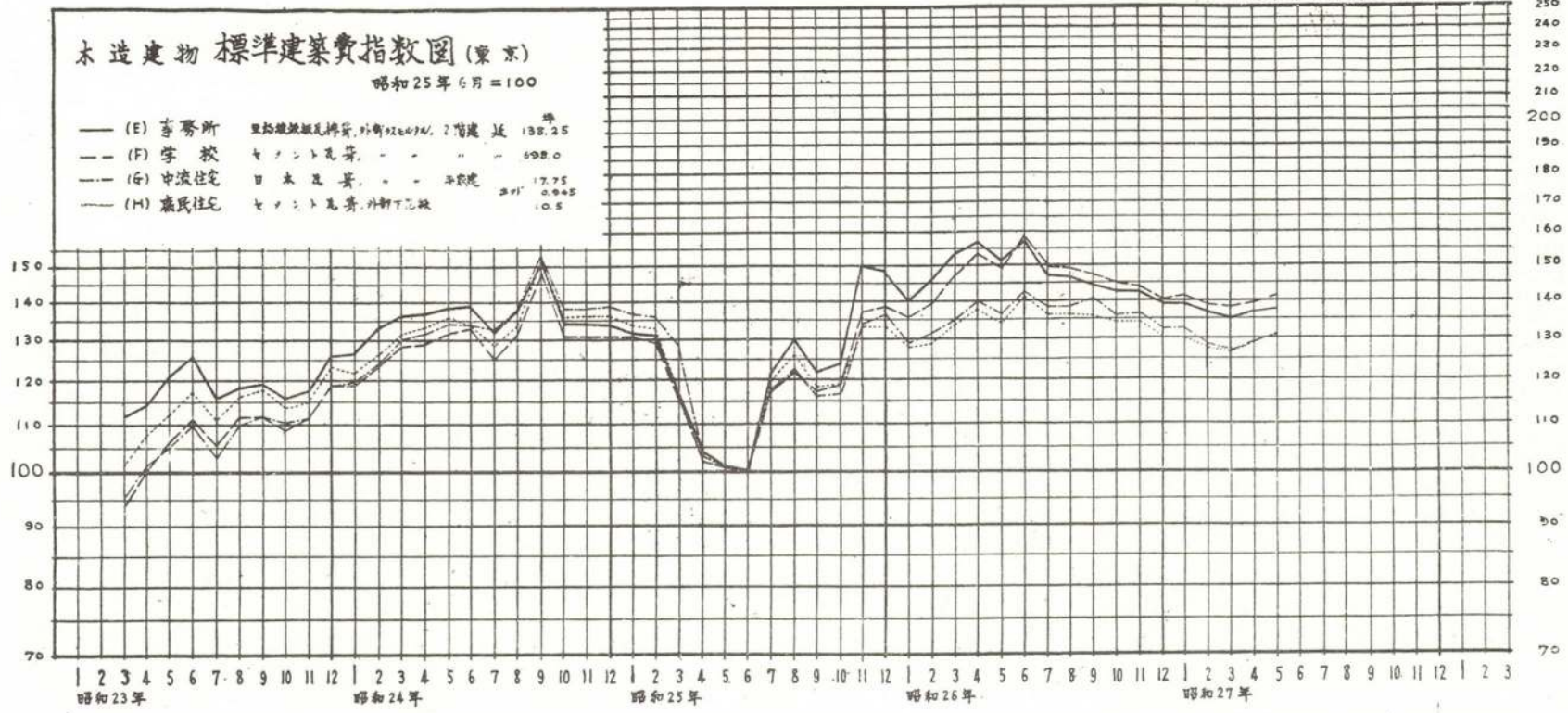
尙お両者の所在を参考に記載して置く。東洋キャリア工業株式会社大阪支店大阪市東区高麗橋三丁目東綿ビル内TEL土佐堀④1861。

建設工業経営研究会 東京都中央区西八丁堀二丁目一六建設ビルディング2階)

木造建物標準建築費指数図(東京)

昭和25年6月=100

- (E) 事務所 皇路建設株式會社、外新226746、2階建、延 138.25
- - (F) 学校 ケノシト瓦葺、- - - - 698.0
- - (G) 中流住宅 日本足量、- - 平家院 17.75
- (H) 森氏住宅 ケノシト瓦葺、外新下元坂 10.5



標準建築費指数(昭和25年6月=100)

年	(H)	(G)	(F)	(E)
昭和23年				
1	102.2	95.5	94.0	112.0
2	108.3	100.1	100.0	114.5
3	112.5	105.5	106.5	121.0
4	117.5	110.0	111.3	125.5
5	111.0	102.7	105.2	115.5
6	117.0	110.2	111.8	118.0
7	112.0	112.2	112.0	119.0
8	114.0	110.1	109.3	115.5
9	115.0	111.5	111.5	117.5
10	123.0	118.9	119.0	126.0
昭和24年				
1	122.0	119.8	119.0	127.0
2	126.5	124.0	123.0	133.0
3	131.2	130.0	128.0	136.5
4	133.0	131.5	129.0	137.0
5	135.8	134.5	132.0	138.5
6	134.3	134.6	133.0	139.0
7	128.0	132.2	125.0	132.0
8	133.8	138.0	132.0	137.5
9	151.0	153.5	148.0	152.0
10	136.0	138.5	131.0	134.5
11	136.4	139.6	130.5	134.5
12	136.3	138.8	130.5	134.0
昭和25年				
1	134.2	137.2	130.5	132.0
2	132.7	136.0	129.5	131.0
3	117.0	129.1	115.2	117.0
4	105.0	103.5	102.4	104.5
5	101.5	100.8	101.0	101.5
6	100.0	100.0	100.0	100.0
7	120.0	117.5	118.0	122.0
8	126.0	122.3	121.5	130.0
9	118.0	116.0	117.3	122.0
10	119.0	116.8	118.7	124.0
11	133.0	134.5	137.4	150.0
12	133.0	136.0	138.0	148.0
昭和26年				
1	128.5	125.5	135.2	140.0
2	129.0	131.5	139.5	145.5
3	134.5	135.0	147.5	153.5
4	138.5	140.0	153.0	157.0
5	134.0	136.5	149.5	150.5
6	141.0	142.5	158.0	157.5
7	136.5	138.0	150.0	147.5
8	136.5	138.0	149.5	147.0
9	136.0	140.5	147.5	144.5
10	134.5	136.0	145.0	142.5
11	134.5	136.5	144.0	142.5
12	130.0	132.5	140.0	139.5
昭和27年				
1	130.0	132.5	141.0	139.5
2	128.0	129.5	139.0	137.0
3	127.0	127.3	138.0	135.0
4	129.2	129.3	139.5	137.0
5	130.5	130.2	141.5	137.8

会 務 (7月分)

記念事業

住 宅 部

1日3時於朝日事務室 吉田部長外11名出席
羽衣住宅展建築プラン 28 戸分審査、敷地割り一部変更、其他進行方協議。

8日3時於建設会館出品者打合開催吉田部長外25名出席
過報告後坪当建築費ABC三種協議、A社9、B18社決定、設計図書明細、仕様書提出期、境界線、用地区分電気、水道、建材等なるべく一括申込其他施工万般打合せ。

出 版 部

24日2時半便覧分科会竹内成夫主席外3名企画内容検討
次回概記持寄り打合せ。

地 質 表 分 科 会

去月中旬より池田災害委次長手許に於て学生バイトを
雇い原稿作成中。

見 学 部

11日岐阜白川方面見学団大阪駅出発 13日帰阪。8月
号掲載の通り、24日分室松本部長竹内委員会合経過取
纏め計算、次期企画打合せ。

産業会館ビル見学

会勢委員会と学会近畿支部共催で北区梅田町に偉視を
呈した産経ビル竣工建物の見学を催した。当日暑中にも
不拘会する者凡 200 名、学協会代表村田治郎氏挨拶
の下に竹中工務店設計次長小川正氏概説明現場主任石
河晃太郎氏外数班の案内に引率上迄見学、竣工間際
の施工中の処もあり参加者一同益する処多く3時過ぎ
解散した。

尚同建物は18、19両日盛大な竣工披露会あり竹中工務店
より建築関係者も多数御案内があり猿之助丈等の三番叟
外余興あり前途祝福された。

建物内容詳細は近く会誌に掲載の予定である。

京都支部役員会

8日5時於支部事務所開催 松井支部長、林、伊東恒治
副支部長外数名本部より大和常務理事、安達会計係な
ど列席、支部事業並に本部交附金問題につき協議。

理 事 会

9日2時於朝日 東畑副会長外9名出席。

開会前故佐竹理事の冥福を祈るため黙禱を捧げた後下
の通り議事報告事項を了した。

理事一名補選の件、建築制限緩和陳情の件、都市不燃
化同盟加入の件、評議員会開催の件、竹腰会長帰朝歡
迎の件、入退会銓衡等夫々協議。

26年度会計検査結果報告、6月分収支算計記念事業中
間報告、映写会、日米学生作品交換、6月午餐会、プ
ラスチック・パンフレット出版、会勢委員会等諸報告
了した。

教育委員会

9日4時朝日にて中野主記外9名出委員長として鷺尾健
三君互選、事業企画、主記にて進行中の日本学生作品
交換の件本委員会事業に継承、技術者教育の件等協議
其他次回腹案持寄り申合せ。

住 宅 委 員 会

10日3時於朝日赤松修外5名出席

委員長に赤松氏を幹事に津村芳一氏を互選。事業企画
意見開陳、住宅譲渡等誌上斡旋。住宅保全に関するパ
ンフレット発行、防火に関する映写会開催等。

建 材 審 査 会

10日4時於朝日置塩委員長 外名出

新規申出のワカ山スレートKK製品厚型スレート並大
同製造KK製品、レジスターにつき両社より夫々説明
あり質問後二つの分科委員に囑した。

スレート布施、管田、竹内孝3委員、レジスター日野
真口、毛利委員分担、18日2時於朝日

以上2分科委員夫々出席両者につき審査をなしたがス
レート分科は更に26日の1時より、和歌山スレート工
場に至り製造の実況及製品を採取り種々試験を行つた
当日布施、奥島、竹内孝、管田委員岩下書記出張。

編 集 会

19日於朝日 中村委員長外出各般協議。

28日委員長外6名、法隆寺出張、復興の塔其他見学、
工事事務所及現場関係各係と面接、誌上発表予定の資
料を収集した。

午 餐 会 (竹腰会長歓迎)

24日正午於ニューオーサカ開催 5月29日羽田空港より
旅立された竹腰会長はアメリカに於けるMRA参加後
米国より歐洲を視察され7月8日羽田空港に無事帰朝、
越えて10日午後5時大阪着つばめでめで度元氣な姿を
大阪駅頭に現された。往きもお帰りも駅頭は歓送迎者
で賑であつたが、此日欧米の新しい事情を拝聴、旁々
歓迎をかね定例午餐会を催した。

席定るや大林副会長、無事帰朝された観迎の言葉を述
べ一同と共にビール乾杯後食事、竹腰会長は3回目の
欧米の旅をしたが今回は特にアメリカ東西南北の主要

合 社 資 大 阪 市 北 区 木 幡 町 三 一 番 地 電 話 堀 川 四 一 四 六 番	合 理 的 工 法 ・ 責 任 施 工 防 錆 完 全 ・ 中 空 防 音 耐 震 ・ 耐 火 ・ 軽 量 ・ 堅 牢	採 用 下 さい は 日 進 式 を 御 を 軽 量 鉄 骨 に 軽 量 鉄 骨 間 仕 切 ・ 天 井

都市と英国、フランス、イタリアなど各地を飛行旅行し主として昔と変った点につき主眼をおいたとて別項の通り1時間余に亘り欧米の建物並社会情勢の概要につきお話しされ一同興味深くお聴した。大林副会長感謝の挨拶後歓談、2時半頃解散した。当日は暑さの際にも不拘、予定人数を遙に越る75名の出席を得非常な盛会であつた事を御礼申上げると共に、次々と待合所の方のテーブル迄、延長をなすなどいたし、席上不備の点がありました事を誌上からお詫申上げます。

評議員会

29日2時於朝日河合議長、赤松修外9名出席、委任状共48名で成立、東畑副会長、山邑監事外理事5名出席、下の通り議事報告を了した。

1. 理事一名補欠選挙の件

故佐竹理事補欠選挙の結果、佐藤太氏当選（近藤電気工事社長）

2. 評議員一名欠員つき補欠に関する件

故松久保敬三氏補欠の件につき理事者としては欠員の儘当分支障なき旨説明、協議の結果、当分欠員現状の儘とする事に可決。

3. 細則一部変更の件

細則10条中定款第9条第1号による者とある次に（個人会員）を加える。同じく第2号による者とある次に（団体会員）を加える。以上理事者の提案理由を聴き審議した結果提案通り可決した。

4. 昭和26年度収支決算、財産目録、事業報告の件

理事配布の書類につき詳細説明あり承認した。

報告 創立35年記念事業中間報告

東畑委員長より別項の通り収支明細書説明中間報告あり一同諒承した。

都市不燃化促進連合会

本会外関係団体を以て組織せる本連合会は7月16日正午於朝日ビル、渡辺会長外9名出席幹事会開催27年5月31日法律第160号を以て公布された。耐火建築促進法につき内容検討後地方公共団体の条令発令前に意見を提出する事協議したが、7月31日別記の通り意見書を全国都道府県知事、8大都市市長並建築部長宛提出した。

昭和27年7月30日

都市不燃化促進連合会

会長 渡辺 節

意見書

今回耐火建築促進法が制定せられ共の実施を見るに至りましたことは、今後全国都市の不燃化進展に偉大な貢献をなすものと信じ、多年本問題に努力を払つて参りました本連合会としては、誠に欣快とし前途に多大の希望をよせると同時に、その運営の適切妥当ならんことを念願しているものであります。

既に防火建築指指定も着々進捗しているかに仄聞し、又各府県市におかれても、条例制定の御準備中のことと存じますが、此際本会は左の2点に就いて希望を述べ御賢慮を願いたいと存じます。

1. 補助の条件は法律に規定せられているが、条例でそれ以上の条件を追加することは極力避けられたい。

2. 防火建築指は出来るだけ広く設定せられたい。

理由

法律の運営上資金的に困難なものに対して優先的に補助せらるることと思われるが、今日の経済状況より見るとき場所的に資金的に必ずしも昔日の尺度で計り難いものがあると思われるから、補助条件をあらかじめ条例で規定することなく、補助申請の状況に応じて考えることとし、当初から条件を法律以上に追加することを極力された方が本法運営上適切であると考えられる。同様に防火建築指も予め路線防火地域のみに限定するようなことなく、中枢部の重要性に鑑み広く補助の機会を与えることにした方がよいと考えられる。

会勢委員会

29日3.30、於朝日 浅沼委員長外12名出、

会勢発展並下期見学先其他事業企画協議、終つて浅沼委員長寄贈に依る懇親会開催した。

故佐竹理事霊前参詣

7月号で謹告の通故佐竹理事は6月14日急逝されたが其後理事会有志で心ばかりの御供えをする事とし7月2日浅海主記理事大和常務理事が代表して芦屋の同邸に参向未亡人に親しくお悔み申上げ霊前に類き供物を呈し謹んで故人の御冥福をお祈り申上げた。

最高水準品・品質優秀



角一ゴムタイル 特種ゴム床材
角一ビニールタイル

（角一ゴムタイル総代理店）

株式会社 コマツ商会

大阪市北区兎我野町46番地
電話堀川⑤3558番

正会員 三原清治君の訃

本会評議員三原清治君事豫而病氣御加養中の処薬石効なく遂に昭和27年8月15日日生病院に於て逝去されました事は誠に痛恨の至りであります。君は大正11年西野田工業学校建築科を卒業後株式会社大林組に入社設計部勤務となり朝鮮、満洲、長府工事務所等に歴任諸設計に従事されたが、其後昭和21年より株式会社銭高組に転じ設計部勤務23年設計課長に榮進今日に及んでいた資性温厚篤実の士で内外に信望厚く将来を囑望されていたのに洵に憐むべき次第であります。本会には昭和23年入会、26年度、評議員に当選任期中であつた。

訃報に接してから時間の都合等で一般にお知らせする事が出来ず取敢ず16日東畑副会長、大和常務理事が弔問



弔詞を呈した。茲に肖像を掲げ在りし日の君の面影を偲ぶ謹んで哀悼の誠を捧げ御冥福をお祈り申し上げます。

因に故人は明治39年4月20日生れ、御住所は池田市尊鉢97番地の18であります。

8月号記事訂正

8月号掲載の「都市の不燃化について」と「大火ということ」の文中に誤植がありましたので此処に謹んで訂正致します。 係

亀井幸次郎・大火ということ・

頁及行	正	誤
23頁の左下より15行	……又は中火災……	……又は中火災……
23頁の左上より10行	火気のなかでは100°C	火気なかでは100°
23頁の右上より20行	……建物の弱点を……	……建物の弱を……
23頁の右上より24行	……火災が、火焰の……	……火災が火災の……
25頁の右下より4行	……要は蠅叩き……	……要は蠅叩を……
22頁左下より10行	Problems Involved	Problenes Involved
同右下5行	発火温度(材質に…)	発火温度(木材質に)
23左上より10行	……開放された火気の……	……開放された火気の……

高橋竜太郎・都市の不燃化について・

26頁左上より5行	……或る程度合理的……	……或る程度分理的……
27頁右下より18行	……相互に関連して……	……相互関連して……
〃〃15行	……価値の認識が可能……	……価値の認識可能……

編集後記

本号は誠に薄い雑誌になつて会員各位に申訳けないが此れも予算の都合で御許し願ひ度い。

実は此の号に産経ビルを大々的に扱い、早くから竹中工務店小川氏より色々と御原稿を頂いたが内容が非常に豊富なので又7・8月号の如く厚くなつて雑誌予算の赤字が残暑の水銀計の如く昇つてしまうので、悲しくも10月に産経ビル掲載を延さして頂いた。

尙お10月号は産経ビルの外に関西建築家の中で燃えている話題の一つの法隆寺五重塔に関連して金堂再建に対し「こんどはそうささない」と云う意気込みで此の問題の御原稿を掲載する予定である。

建築と社会 第35輯 第9号

売価1部80円(送料共)

昭和27年8月25日印刷・昭和27年9月1日発行

編集発行人 沖田 誠 一

発行所 社団法人 日本建築協会
大阪市北区中ノ島3ノ3朝日ビル
電話 北浜 21334~9番
振替口座大阪39975番

大阪市北区堂山町66
印刷者 網野 栄
大阪市北区堂山町66
印刷所 株式会社研文社 電話奥崎 2056番

●第三集 第九号 掲載広告一覧（掲載順）

日本ドアーチエック製造
 岩住鉄工所
 宇部スレート工業
 協和製作所
 大阪機工
 久保商店
 大阪城口研究所
 大阪電気商会
 桐田商会
 齊久工業
 三機工業
 須賀工業
 西原衛生工業所
 建材社
 栄興商会
 三晃商会
 マンテン
 浅海電気産業
 近畿電気工事
 中央電気工業
 立花商会
 田村商会

大阪コンベス建材社
 大島応用化学工業
 大阪建材工業
 井上工材
 三舟窯業
 不二製作所
 永島敬通
 坂本商会
 山本建材社
 亀井
 ケーアールゴム
 昭和鋼機
 ナニワ瓦
 大同鑄造
 前沢商行
 鈴木シャタア商会
 関城化学工業所
 水島商店
 矢橋大理石商店
 尾北商店
 平田タイル
 シフカー工業所

井上浄夫商店
 藤井組
 和田避雷針製作所
 福島産建工業
 藤森工業
 三高製作所
 樫野石灰工業
 長岡鉄筋コンクリート
 高野アスファルト
 林塗装店
 福屋工業所
 室谷商店
 石井建材
 東京鋼板工業
 佐村木商店
 三幸商会
 吉田芳雄商店
 川岸窯業
 豊国建材店
 衣川鉄工所
 大阪耐酸工業所
 田島応用化工
 三星タイル会
 玉置産業

岩元工業
 旭化工板製造
 木下謹三商店
 杉田組協栄
 黒川化学工業所
 浪速建材工業
 正起工業
 清光社
 油脂化工社
 日本セメント防水剤製造所
 内外土木建材社
 朝日石綿工業
 安田レール
 大建工業